

AutoConnect **ミッドマウントモア** **60D/72D**

オペレータマニュアル

AutoConnect ミッドマウントモア
60D/72D

OMLVU27981 号 I3 版 (JAPANESE)

John Deere Augusta Works

欧州モデル
Printed in U.S.A.



導入

オペレータマニュアルの使用

作業を行う前に、オペレータマニュアル全体、特に安全関連の情報を確認してください。

このマニュアルは、お使いの作業機の重要な構成要素となります。すべてのマニュアルを手の届きやすい場所に保管してください。

作業機のオペレータマニュアルとともに、アタッチメントのオペレータマニュアルに記載されている安全および操作関連の情報を参照し、アタッチメントを安全かつ正しく整備し操作してください。

アタッチメントのマニュアルに「作業機の準備」というセクションが含まれている場合は、アタッチメントを取り付ける前にお使いのトラクターまたは車両に対して何らかの準備が必要となります。このマニュアルの「組み立ておよび取り付

け」のセクションには、お使いのトラクターまたは車両にアタッチメントを組み立てて取り付けるための情報が記載されています。お使いのアタッチメントに必要な調整やルーチン作業の整備を行う場合は、「整備」のセクションを参照してください。

このアタッチメントの組み立て、取り付け、または操作に関するお問い合わせは、お近くの John Deere 取扱店にご連絡いただくか、John Deere カスタマーコンタクトセンター (1-800-537-8233) にお電話ください。

John Deere 製アタッチメントの保証に関する情報は、お使いの John Deere 製トラクターまたは車両に付属している保証書でご確認いただけます。

目次

	ページ		ページ
製品識別		取り外しと保管	
製品の互換性	00-1	モアの取り外し	30-1
識別番号の記録	00-1	モアの保管	30-2
安全ラベル		操作	
作業機の安全ラベルの意味	05-1	モアの上昇・下降	35-1
安全ラベル	05-2	モアレベルの調整 (側方)	35-1
安全		モアレベルの調整 (フロント／リア)	35-1
作業機のアペレータマニュアルの安全に		モアホイールの調整	35-2
関する情報の確認	10-1	高さ調整リンクの使用	35-2
トレーニング	10-1	モアの接続	35-2
準備	10-1	モアの詰まりの除去	35-3
作業	10-1	機械に載せたモアの輸送	35-3
メンテナンスと保管	10-2	整備	
芝刈りエリアの確認	10-2	整備間隔	40-1
安全な駐車	10-2	グリース	40-1
回転中のブレードは危険です	10-3	ギアオイル	40-1
子供の保護	10-3	モアの潤滑	40-2
回転しているドライブラインに近づかない	10-3	ギアボックスの整備	40-3
転倒の防止	10-4	モアベルトの整備	40-3
適切な衣服の着用	10-4	モアブレードの整備	40-4
アセンブリ		ホイールの交換	40-6
リフトキットの部品	15-1	シーブの交換	40-6
ギアボックスおよびテンションブーリーの取り付け		仕様	
(60D のみ)	15-3	60 in 7-Iron モアデッキ	60-1
ホイールの取り付け	15-4	72 in 7-Iron モアデッキ	60-1
排出シュートの取り付け	15-5	整備のお問い合わせ	
モアデッキへのフォワードリフトリンクの取り付け	15-5	整備マニュアル	65-1
リアリフトリンクの組み立て	15-6	部品	65-1
ハンガーの取り付け	15-7	整備部品のオンライン注文	65-1
ブラケットの取り付け	15-8	高品質な整備で John Deere 製品の高い品質を維持	65-1
中間揺動軸の取り付け	15-9	適合宣言	
高さ調整リンクの取り付け	15-9	EC 適合宣言	70-1
リフトキットの取り付け完了	15-10		
取り付け			
作業機の準備	25-1		
トラクターおよび PTO カブラーの準備	25-1		
トラクターへのモアデッキの取り付け	25-2		

本文書は翻訳版です。記載されているあらゆる情報、
画像、仕様は、原本発行時の最新情報に基づきます。
予告なしに変更する場合がありますので、ご了承ください。

COPYRIGHT © 2013
DEERE & COMPANY
Moline, Illinois
All rights reserved
A John Deere ILLUSTRATION ® Manual
Previous Editions
Copyright © 2009, 2010

製品識別

製品の互換性

60D/72D AutoConnect モアは、次のコンパクトユーティリティトラクターモデルで使用するよう設計されています。3120、3320、3520、3720、3033R、3038R、3039R、3045R、3046R。

モアを操作する前に、機械に次の装置を取り付ける必要があります。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

- ミッド PTO キット
- モアリフトキット

UP00731,000004D -40-28AUG13-1/1

識別番号の記録

AutoConnect モア

60D シリアル番号 (060001～)

72D シリアル番号 (060001～)

整備について認定サービスセンターに問い合わせる必要がある場合は、必ず製品のモデルとシリアル番号を用意してください。

モアデッキのモデルおよびシリアル番号を確認し、情報を以下の空欄に記録してください。

購入日 :

取扱店名 :

取扱店の電話番号 :

製品シリアル番号 :

UP00731,000004E -40-28AUG13-1/1

安全ラベル

作業機の安全ラベルの意味

このセクションで説明する作業機の安全ラベルは、安全に関わる潜在的なリスクに対する注意を喚起するため作業機の重要な部分に表示されています。

お使いの作業機の安全ラベルには、安全警告マークとともに「危険」、「警告」、および「注意」の文字が表示されます。「危険」は最も重大な危険要素を示します。

オペレータマニュアルでは、必要に応じて「注意」の文字と安全警告マークとともに特別な安全に関するメッセージを記載し、安全に関わる潜在的なリスクについて説明しています。

安全標示ラベルが足りない場合は補充し、状態の悪いラベルは交換します。適切な安全標示ラベルの位置については、このオペレータマニュアルを使用してください。

販売業者から供給される部品については、このオペレータマニュアルに転載されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。



スペイン版安全標示ラベルとオペレータマニュアル

John Deere 認定取扱店から、スペイン版のオペレータマニュアルと安全標示ラベルをお求めいただけます。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

注記：ここでは文字と絵柄による両方のラベルが記載されています。お使いの作業機にはこのうちいずれかのラベルのみが取り付けられています。

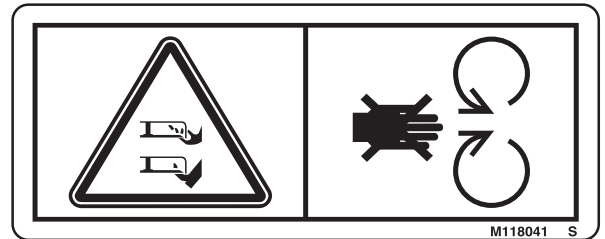
MP47322,00F4601 -40-15AUG13-1/1

安全ラベル

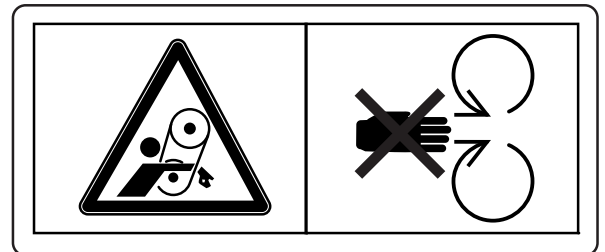
危険

回転するブレード

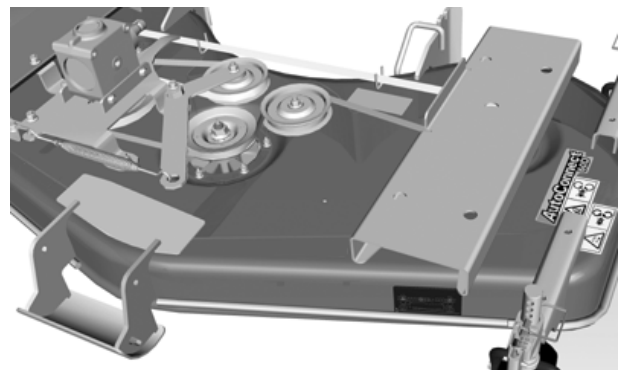
エンジン作動中、モアの下または中に手足を入れないでください。



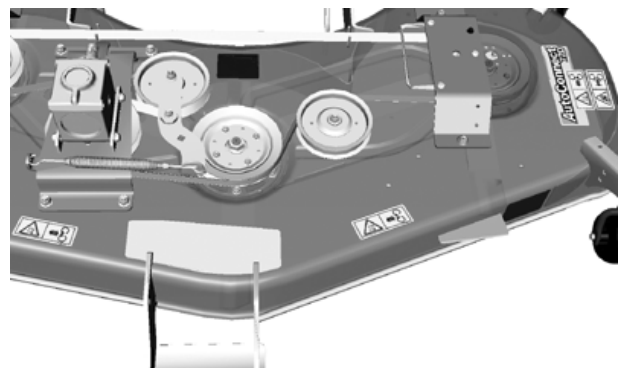
安全ラベル : M118041



安全ラベル : LV136436



60 In モアデッキ



72 In モアデッキ

次のページへ

UP00731,0000092 -40-05SEP13-1/5

危険

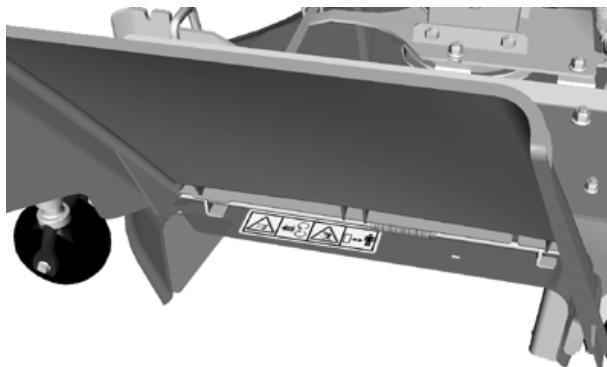
回転するブレードや飛ばされた物によるけがを防止するために、以下の注意事項に従ってください。

回転しているブレードに手足を近づけないでください。

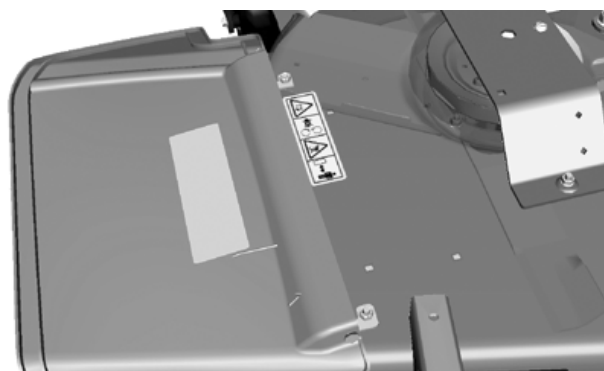
周辺に人を近づけないでください。排出シュートなしで、またはグラスキャッチャ全体を取り付けずに芝刈り作業を行わないでください。



安全ラベル : M138631



60 In モアデッキ



72 In モアデッキ

[次のページへ](#)

UP00731,0000092 -40-05SEP13-2/5

危険

回転するブレード

エンジン作動中、モアの下または中に手足を入れないでください。

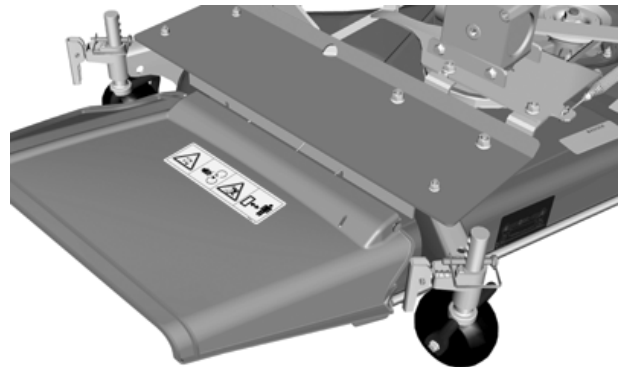
飛ばされる物体

刈り作業を行う前に、ブレードで飛ばされる可能性のある物体を除去します。

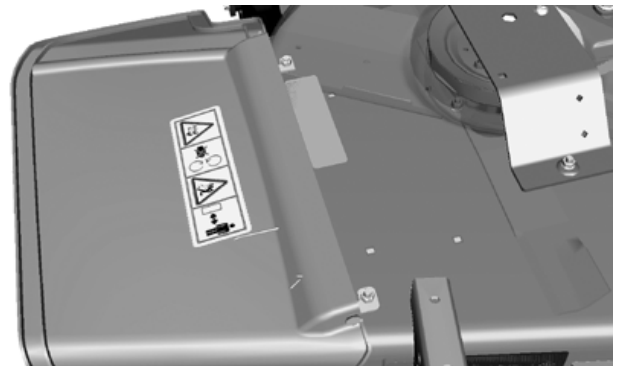
排出シュートなしで、またはグラスキャッチャ全体を取り付けないで芝刈り作業を行わないでください。



安全ラベル : M118040



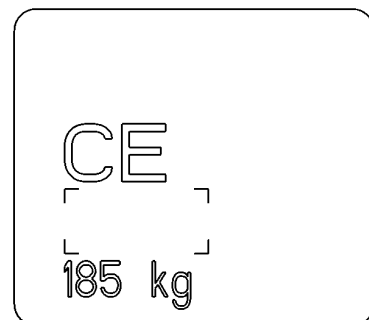
60 in モアデッキ



72 in モアデッキ

UP00731,0000092 -40-05SEP13-3/5

機械のこのラベルは、このモデルが認定を受け、欧州指令 98/37/EEC の規格に適合していることを示します。



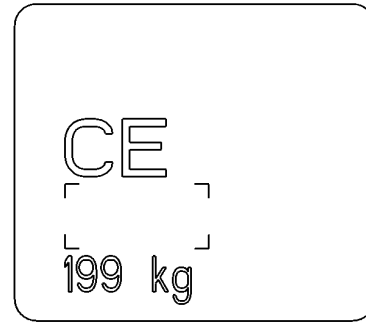
LVU23051 : 60D モア用

次のページへ

UP00731,0000092 -40-05SEP13-4/5

安全ラベル

機械のこのラベルは、このモデルが認定を受け、欧州指令 98/37/EEC の規格に適合していることを示します。



LVU23052 : 72D モアデッキ用

UP00731,0000092 -40-05SEP13-5/5

安全

作業機オペレータマニュアルの安全に関する情報の確認

お使いの機械のオペレータマニュアルに記載されている全般的な安全に関わる操作上の注意事項を読み、安全に関する追加情報を確認してください。

UP00731,0000095 -40-04SEP13-1/1

トレーニング

- 説明をよくお読みください。機械のコントロール類と正しい使い方を習得してください。
- 絶対に子供や説明に習熟していない人に芝用モアの使用を許可しないでください。国の規則によりオペレータの年齢が制限されている場合があります。
- 特に子供などの人やペットが近くにいる場合は、絶対に芝刈りを行わないでください。
- 他の人やその所有物への事故または危険に対しては、オペレータあるいは使用者が責任を負うことを念頭に置いてください。
- 他の人を同乗させないでください。

AP43109,0000288 -40-16APR13-1/1

準備

- 芝刈り中は、必ず厚手の靴と長ズボンを着用してください。裸足やサンダル履きで装置を操作しないでください。
- 機器を使用する場所を十分に点検し、機械により弾き飛ばされる可能性のある物体はすべて取り除いてください。
- 使用前に、必ずブレード、ブレードボルト、カッターアセンブリが摩耗または損傷していないことを目視点検してください。摩耗または損傷したブレードおよびボルトは、バランスを保つためにセットで交換してください。
- マルチブレードの機械の場合は、1つのブレードが回転することにより他のブレードも回転するので注意してください。

AP43109,0000289 -40-15APR13-1/1

作業

- 危険な一酸化炭素が溜りやすい狭い空間でエンジンを動作させないでください。
- 刈り作業は、日中または十分な照明の下でのみ行ってください。
- エンジンを始動させる前に、すべてのブレード付属装置のクラッチ接続を外してニュートラルに切り替えてください。
- 傾斜地には常に危険が伴う点に留意してください。芝の生えた傾斜地の走行では、特に注意する必要があります。横転しないよう、以下に従ってください。
 - 傾斜面を横断して芝刈りを行わないでください (機械がその目的のために設計されている場合を除く)。
- 芝以外の地面を横切の場合は事前にブレードの回転を止めてください。
- 絶対に刈り取った物を周辺の人に向かって排出させないでください。また、作業中に機械の近くに人を近づけないでください。
- ガードに不良がある、あるいは安全装置が所定の位置に付いていない機械は絶対に操作しないでください。
- エンジンガバナーの設定を変更したり、エンジン回転数を上げすぎたりしないでください。過度の回転数でエンジンを運転すると、けがの危険性が高くなります。
- オペレータ位置から離れる前に：
 - アタッチメントの駆動装置を解除して、下降させます。
 - ニュートラルに変更してパーキングブレーキをかけます。
 - エンジンを停止し、キーを抜きます。
- アタッチメントの駆動装置を解除して、エンジンを停止し、スパークプラグワイヤの接続を外してイグニッションキーを抜きます。
 - シュートの障害物を除去する前に
 - 機械で点検、清掃、または作業を行う前に
 - 異物に当たった後。装置の再始動および操作を行う前に、機械に損傷がないか点検し、修理します。
 - 機械の異常振動が始まった場合 (すぐに点検してください)。
- 運搬時または非使用時には、付属装置の駆動装置を外してください。
- 以下の場合には、エンジンを停止させて付属装置への駆動装置を解除します。
 - 燃料を補充する前。
 - グラスキャッチャを取り外す前。
 - 高さ調整を行う前 (オペレータ位置から調整を行える場合を除く)。
- ランアウト中はスロットル設定を減らします。エンジンにシャットオフバルブが装備されている場合は芝刈りの終わりに燃料をオフにします。
- 操作する前に機械を点検してください。損傷、摩耗、または損失した部品を修理あるいは交換してください。運転する前に必要な調整を行ってください。
- 排出シュートなしで、またはグラスキャッチャ全体を取り付けずに芝刈り作業を行わないでください。グラスキャッチャを使用している場合を除き、絶対に排出デフレクタを上昇させて、取り外して、または変更して操作しないでください。
- 作業エリアに人が入ってきた場合は機械を停止してください。
- 機械のメーカーが認可しているアクセサリとアタッチメントのみを使用してください。アクセサリやアタッチメントを取り付ける際は、安全ラベルが見えるように取り付けてください。
- ブレードの作動中は、絶対にモアのデッキを上げないでください。

AP43109,000028A -40-18APR13-1/1

メンテナンスと保管

- すべてのナット、ボルト、ねじを締めて、装置が安全に機能する状態であることを確認してください。
- タンクに燃料が残った装置を、蒸発ガスが裸火や火花に達する可能性がある建物内に保管しないでください。
- 囲いの中に保管する前にエンジンが冷めるのを待ってください。
- 火災の危険を減らすために、エンジン、マフラー、バッテリーコンパートメント、燃料保管場所に草、葉、余分なグリースを近づけないでください。
- グラスキャッチャーに摩耗や劣化がないか頻繁に点検してください。
- 安全のため、摩耗または損傷した部品は交換してください。
- 燃料タンクを抜き取る必要がある場合は、屋外で行ってください。
- マルチブレードの機械では、1つのブレードが回転すると、他のブレードも回転する可能性があることに注意してください。
- 機械を駐車または保管したり、機械から人が離れるときは、切断装置を下げてください(確実な機械式ロックが使用されている場合を除く)。
- 必要な場合は、ジャッキスタンドを使用するか、整備用のラッチをロックして部品を支持してください。整備作業で持ち上げる必要のある機械部品はしっかりと支持してください。
- 機械またはアタッチメントを整備する前に、油圧部品やスプリングなど、エネルギーが残っている部品から圧力を慎重に解放してください。
- アタッチメントまたはカッティングユニットを地面または機械的ストッパーまで下ろし、油圧制御レバーを前後に動かして油圧を解放してください。
- 修理を行う前に、バッテリーの接続を外すか、スパークプラグ(ガソリンエンジンの場合)を取り外してください。最初にマイナス端子、次にプラス端子の順に接続を外してください。接続する場合は、最初にプラス端子、次にマイナス端子の順に接続してください。
- ブレードを点検するときは十分注意してください。ブレードを整備するときは、ブレードを覆うか、手袋を着用し、十分注意してください。ブレードのみを交換してください。絶対にブレードをまっすぐにしたり、溶接したりしないでください。
- 可動部品に手、脚、着衣、装飾品、長い髪を近づけないでください。可能な場合は、エンジンを運転して調整を行わないでください。
- 十分に換気され、開放された場所で、火花や炎から離してバッテリーを充電してください。バッテリーに充電器を接続したり、切断したりする前に充電器をコンセントから抜いてください。保護服を着用し、絶縁した工具を使用してください。

AP43109,000028B -40-15APR13-1/1

芝刈りエリアの確認

- 引き倒される可能性がある物を芝刈りエリアから除去します。芝刈りエリアへの人やベットの立入りを禁止します。
- 低く垂れ下がっている枝や同様の障害物でオペレータがけがをしたり、芝刈り作業が中断する可能性があります。芝刈りの前に、低く垂れ下がっている枝など、可能性のある障害物を確認し、これらの障害物を刈り込むか、取り除きます。
- 芝刈りエリアを調査してください。安全な芝刈りパターンを設定してください。タイヤと路面間で生じる駆動力や安定性が疑われる場所では、芝刈りを行わないでください。
- 芝刈り機を下げ(ただし、動かさないで)、作業エリアのテスト走行を行ってください。でこぼこの地面上を走行するときは、速度を落としてください。



AP43109,000028C -40-15APR13-1/1

安全な駐車

1. 機械を平坦な場所に停車します。斜面で停車しないでください。
2. PTO の接続を解除してアタッチメントを停止します。
3. アタッチメントを地面まで下げます。
4. パーキングブレーキをロックします。
5. エンジンを停止します。
6. キーを抜き取ります。
7. 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。
8. 燃料シャットオフバルブを閉じます(機械に装備されている場合)。
9. 機械の整備前に、バッテリーのマイナスケーブルの接続を外すか、スパークプラグワイヤを外します(ガソリンエンジンの場合)。

UP00731,000009D -40-04SEP13-1/1

回転中のブレードは危険です

重傷事故や死亡事故を回避するために、次の点に注意してください。



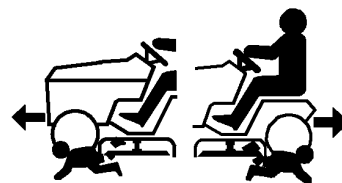
- 回転しているブレードにより、腕や脚を切ったり、物が飛ばされる可能性があります。安全上の注意事項に従わない場合、重傷事故や死亡事故が発生する可能性があります。
- エンジン運転中は、モアデッキに手、脚、服を近づけないでください。
- 前進および後退とも、常に細心の注意を払ってください。オペレータが気づく前に、人、特に子供などが芝刈りエリアに急に入ることがあります。
- 後退する前に、モアブレードやアタッチメントを停止し、機械の下側や後ろに特に子供がいらないか慎重に確認してください。
- 後退しながら芝刈りを行わないでください。

- 刈り作業をしていないときは、ブレードを停止します。
- グラスキャッチャを空にする場合やシュートの詰まりを直す場合も含めて、何かの理由で運転席を離れる時は、必ず機械を安全に駐車してください。

UP00731,000009E -40-04SEP13-1/1

子供の保護

- 小さな子供は以前だれかに機械に乗せてもらったことがあるため、子供が芝刈り機を遊びと結び付けると、死亡事故や重傷事故が発生する可能性があります。
- 子供は芝刈り機と芝刈り作業に魅了されます。回転中のブレードの危険性やオペレータが子供の存在に気付かないことは、彼らには理解できていません。
- 過去に乗車経験がある子供がもう一度乗りたいと芝刈りエリアに急に現れて、機械に巻き殺される可能性があります。
- 特に、子供が機械の後ろから近づくときなど、オペレータが子供を見落とした場合に子供の重大な事故が発生することがあります。後退する前および後退中は、モアブレードを停止し、機械の下側や後ろに特に子供がいらないか慎重に確認してください。
- ブレードが停止している場合でも、絶対に機械やアタッチメントに子供を乗せて運ばないでください。子供を乗せたカートやトレーラーを牽引しないでください。子供が落下して重傷を負ったり、機械の安全な運転の妨げになる可能性があります。
- 絶対に RV として、または子供を楽ませるために機械を使用しないでください。



- 絶対に子供や訓練を受けていない人に機械の運転を許可しないでください。機械やアタッチメントに子供を乗せないようにすべてのオペレータに指示してください。
- 芝刈り機を使用しているときは、子供を屋内、芝刈りエリアの外、オペレータ以外の親の目の届く場所に留めてください。
- 子供の存在に十分注意してください。前に見かけた場所に子供が留まっているとは絶対に考えないでください。子供が作業エリアに入った場合は、機械を OFF にしてください。
- 見通しの悪い曲がり角、植木の茂み、樹木、その他子供を視界から遮る物体の近くを走行する場合は十分注意してください。

OUO1023,0000037 -40-21FEB13-1/1

回転しているドライブラインに近づかない

回転しているドライブラインに巻き込まれると、深刻な人身事故を引き起こす可能性があります。

- ぴったりした衣類を着用してください。
- PTO に近づく前に、エンジンを停止し、PTO ドライブラインが停止したことを確認してください。

UP00731,000009A -40-04SEP13-1/1

転倒の防止

- 傾斜地は、重大なけがまたは死亡を招く可能性がある制御不能や転倒事故に関連する重要な要因です。傾斜地で操作する際は、いかなる場合でも厳重な注意が必要となります。
- 機械式前輪駆動 (MFWD) は危険な傾斜地へのアクセスを改善しますが、転倒の可能性が高くなることに注意してください。
- 坂を横切らないで登坂・降坂運転してください。
- 穴、わだち、隆起、石や岩、その他の隠れた物体などに注意してください。不均等な地形では機械が転倒するおそれがあります。背の高い草により障害物が隠れる可能性があります。
- 湿った草の上で芝刈りや機械の運転を行わないでください。タイヤがトラクションを失う可能性があります。ブレーキが適切に機能している場合でも、傾斜地ではタイヤがトラクションを失うことがあります。
- 傾斜地で停車またはシフトする必要があるように低い対地速度を選択してください。
- 傾斜地を下るときは、常に機械のギアを入れてください。下り坂でギアをニュートラルに入れて惰走しないでください。
- 傾斜面では、発進、停車、または旋回を避けます。タイヤのトラクションがなくなった場合は、ブレードの接続を解除し、斜面をゆっくり真直ぐに降りてください。



- 傾斜面ではすべての動きをゆっくりと徐々に行います。急に速度や方向を変えないでください。機械が横転する可能性があります。
- 断崖、溝、堤防や他の水域付近では機械を運転しないでください。車輪が縁の部分にかかった場合、または縁に落ち込んだ場合には、機械が急に転倒することがあります。機械と危険な場所との間には、安全な距離をあけてください。
- 狭いトレッド設定で高速で運転すると、転倒の危険性が非常に高くなります。
- 傾斜地で運転する場合、またはフロント／リア取り付けのアタッチメントを使用する場合は、安定性を高めるためにホイールウエイトやカウンターウエイトに関するメーカーの推奨事項に従ってください。必要がない場合はウエイトを取り外してください。

UP00731,000009B -40-04SEP13-1/1

適切な衣服の着用

- 作業時には安全ゴーグルまたはサイドシールド付きの安全メガネ、そしてヘルメットを必ず着用してください。
- ぴったりした衣類と作業に適した安全具を着用してください。
- 作業時には必ず作業靴と長ズボンを着用してください。裸足やサンダルを履いた状態で装置を操作しないでください。
- 耳栓などの適切な保護具を着用してください。騒音により聴力喪失や難聴が起こることがあります。

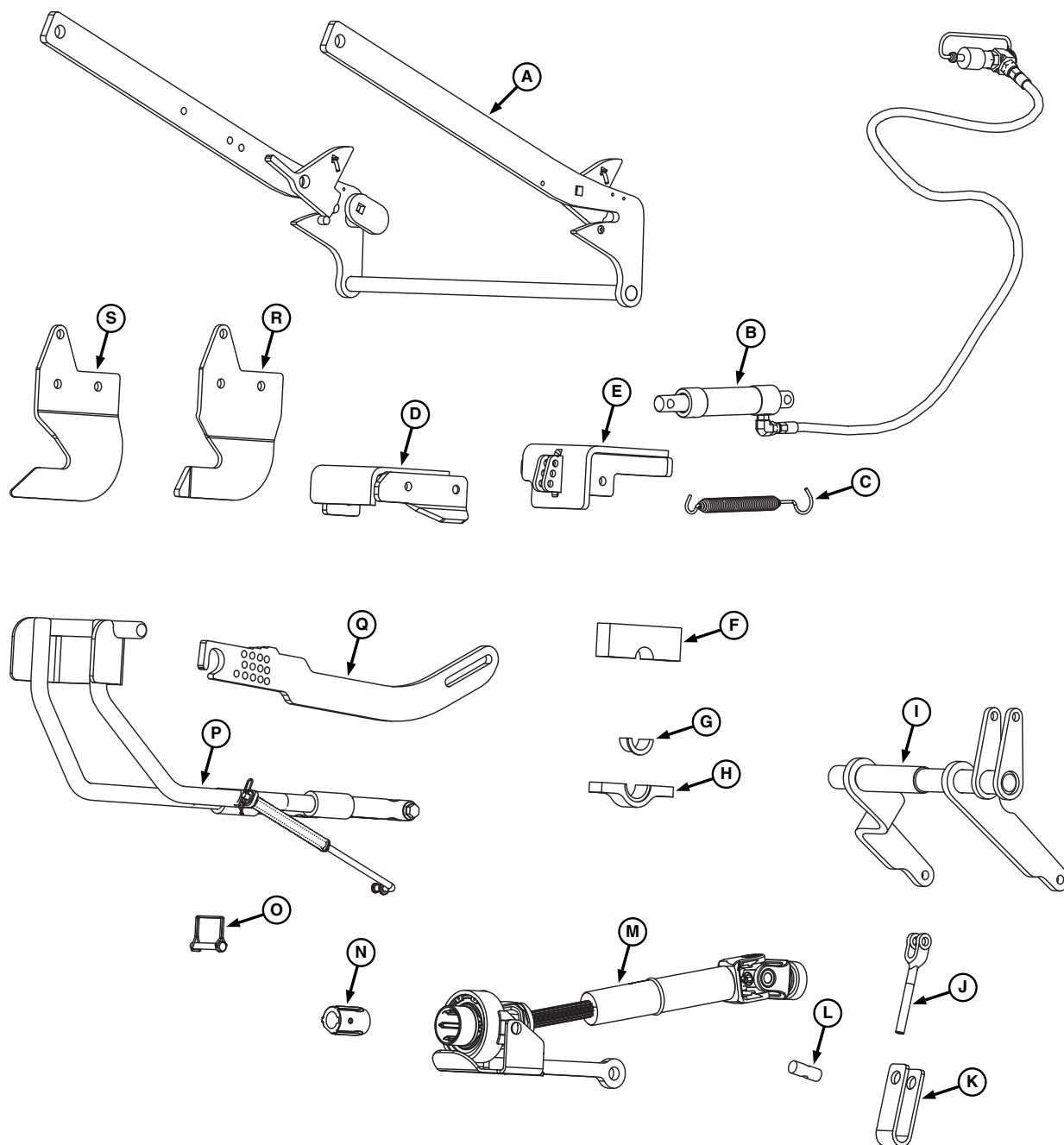


UP00731,00000A0 -40-04SEP13-1/1

アセンブリ

リフトキットの部品

注記：一部の部品はトラクターに取り付けられ、その他の部品はモアに取り付けられます。



キットの部品

次のページへ

UP00731,000004F -40-03OCT13-1/2

アセンブリ

数量	説明
1	リアリフトリンク (A)
1	シリンダ (B)
1	スプリング (C)
1	右ブラケット (D)
1	左ブラケット (E)
2	ブロックランプ (F)
2	揺動軸ブッシング (G)
2	ハーフランプ (H)
1	中間揺動軸 (I)
2	調整式ヨーク (J)
2	U ブラケット (K)
2	リンクピン (L)
1	ベアリングアセンブリ (M)
1	**カプラー、オス (N)
2	スナップロックピンアセンブリ (O)
1	**フォワードリフトリンク (P)
1	高さ調整リンク (Q)
1	左ハンガー (R)
1	右ハンガー (S)
1	**セットボルト、M8x8
2	クレビス
2	ドリルピン
6*	フランジボルト、M12x65
6*	フランジボルト、M12x45
12	ロックナット、M12
1	六角穴付きボルト、M12x30
3	六角ボルト、M12x30
4	六角ボルト、M12x90
1	ピン、シリンダ／揺動軸用
1	クレビスピン、M12x70
4	座金、1/2
3	コッタピン
4	ブッシング
4	フランジボルト、M12x50
2	ドリルピン、M12x35
2	ロッキングリング

* 使用数量はグリルガードを備えたトラクターに応じて決まります。

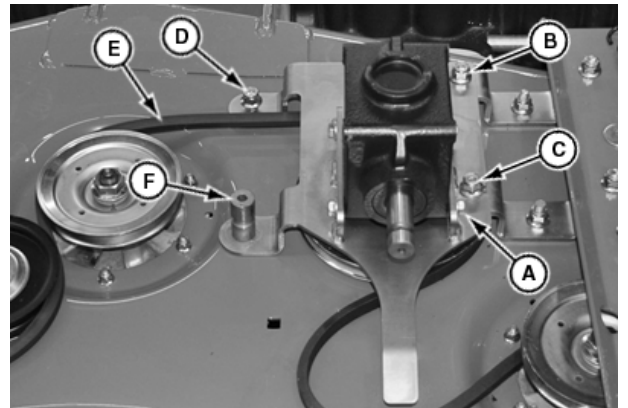
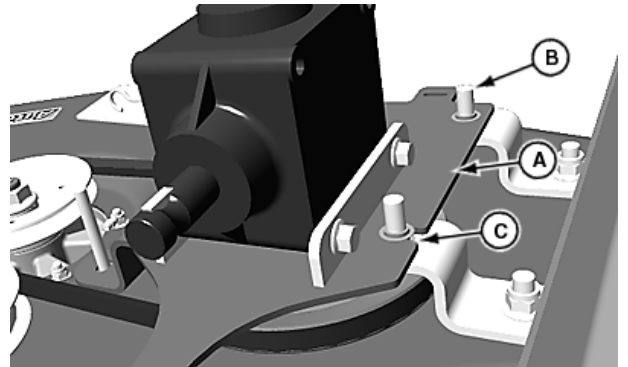
** 部品はモアデッキに取り付けます。

UP00731,000004F -40-03OCT13-2/2

ギアボックスおよびテンショナプーリーの取り付け (60D のみ)

1. ボルト (B) に合わせてギアボックス (A) を配置し、スロットを位置 (C) に回転させます。
2. サポートをボルト (D) に合わせて下ろします。
3. 図に示すように、ベルト (E) をギアボックスの左側レグの間に通してギアボックスプーリーにかけます。
4. ボルト (B)、(C)、(D) にナットを取り付けます。
5. 左リアのボルトにブッシング (F) を取り付けます。ボルトの端部をつかんで上に引っ張ってブッシングを取り付ける必要がある場合があります。

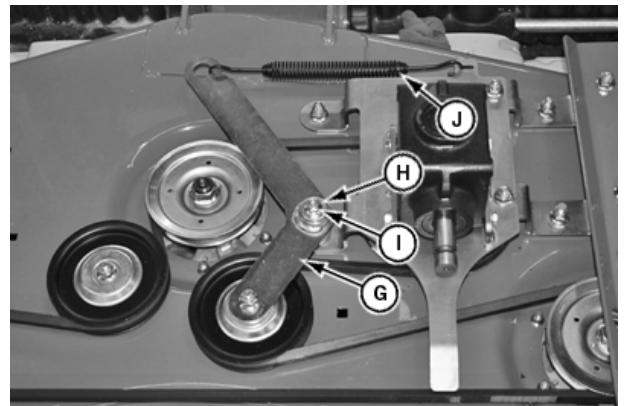
A: ギアボックスサポート
B: ボルト
C: スロットの位置
D: ボルトの位置
E: ベルト
F: ブッシング



UP00731,0000050 -40-05SEP13-1/3

6. ブッシングの上部にテンショナプーリー (G) を取り付けます。座金 (H) を取り付けてナット (I) で固定します。
7. 図のようにテンショナプーリーにベルトをかけます。
8. テンショナアームとギアボックスサポートにスプリング (J) を取り付けます。
9. ナット (I) を 73 N・m (53.8 lb-ft) のトルクで締め付けます。
10. 残りナット 3 個を 120 N・m (88.5 lb-ft) のトルクで締め付けます。
11. すべてのプーリーを点検してベルトが正しく整列していることを確認します。

G: テンショナプーリー
H: 座金
I: ナット
J: スプリング



次のページへ

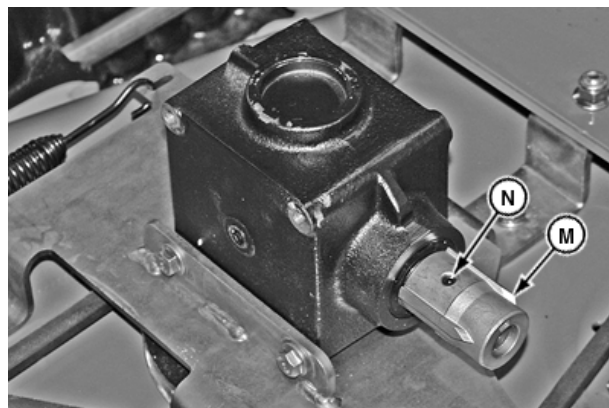
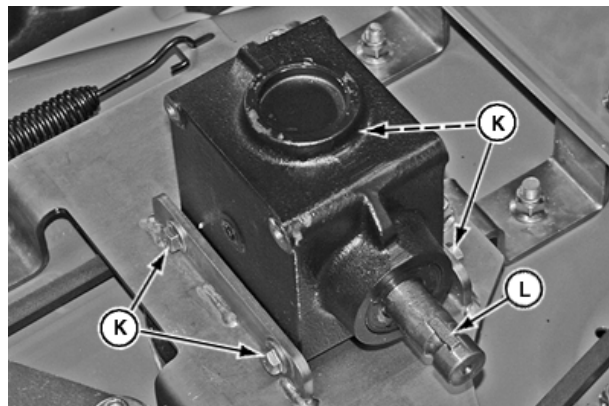
UP00731,0000050 -40-05SEP13-2/3

注記：ギアボックス側の取り付けボルト (K) は緩んでいます。
取り付けスロットの後端まで可能な限りギアボックス
をスライドさせて、ボルトを 80 N・m (59 lb-ft) のトル
クで締め付けます。

12. ギアボックスシャフトのスロットに半月キー (L) を取り付
けます。MPG-2 焼き付き防止剤または同等品をシャフト
に塗布します。

13. オスカプラー (M) をギアボックスシャフトに取り付けて、
セットボルト (N) で固定します。オスカプラーとセットボ
ルトはリフトキットにあります。

K: ボルト
L: 半月キー
M: オスカプラー
N: ボルト



UP00731,0000050 -40-05SEP13-3/3

ホイールの取り付け

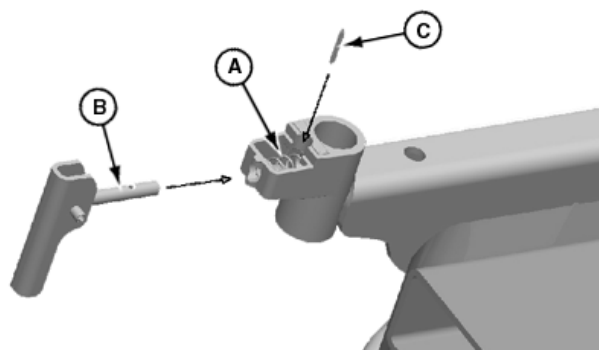
注記：60D モアには 2 つのオフセットホイールがあり、これ
らはモアの右側に取り付けます。72D モアではすべての
ホイールが同じです。

**⚠ 警戒：機械の部品やアタッチメントは重量があります。
コンポーネントやアタッチメントの釣り上げ、取り付
けまたは取り外しには、正しい積載量定格の安全な吊
上げ装置を使ってください。**

1. チェーンホイストまたはその他の適切な装置を使用して、
梱包からモアを取り出します。

2. 60D モアのみ：

- 図のようにスプリング (A) をブラケットに取り付けま
す。
- ホイールロックアセンブリ (B) をブラケットに押し込
みます。
- ロールピン (C) を取り付けてホイールロックアセンブ
リを取り付けます。



60D モアの左リアホイール部分

A: スプリング
B: ロックアセンブリ
C: ロールピン

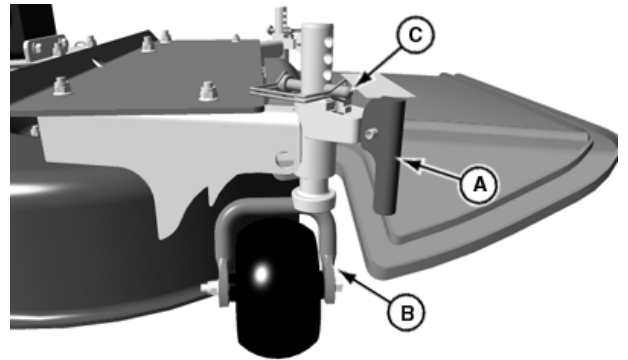
次のページへ

UP00731,0000051 -40-26AUG13-1/2

注記：ホイールを取り付けた後、ホイールが地面に対して直角になるまでハンドル (A) を押し下げてホイールをロックする必要がある場合があります。ただし、モアをトラクターに取り付ける前にホイールはロック解除位置にある必要があります。

- ホイールシャフトを上にスライドさせてホイールブラケットに通してホイール (B) を取り付けます。
- 各ホイールにスプリングピン (C) を取り付けます。

A：ハンドル
B：ホイール
C：スプリングピン



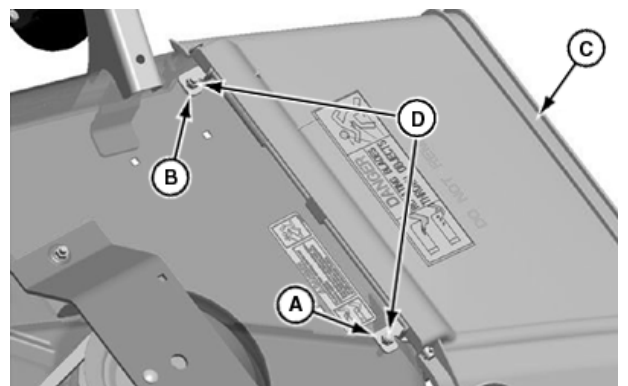
モアの右側に取り付けた 60D モアのオフセットホイール

UP00731,0000051 -40-26AUG13-2/2

排出シュートの取り付け

- リアヒンジ (A) とナットをデッキに取り付けます。締め付けしないでください。
- 片手でスプリングに力を加えながらフロントヒンジ (B) とナットをデッキに取り付けます。締め付けしないでください。
- ヒンジが整列しやすいようにデッキからシュートアセンブリ (C) を引っ張りながらナット (D) を締め付けます。

A：リアヒンジ
B：フロントヒンジ
C：シュートアセンブリ
D：ナット



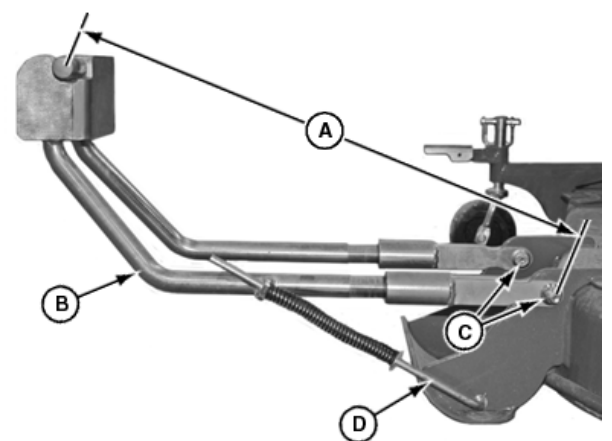
72 モア

UP00731,0000052 -40-26AUG13-1/1

モアデッキへのフォワードリフトリンクの取り付け

- 水平フレームの中心からボルトの中心までの距離 (A) を測定します。距離 (A) は 599 mm (23.6 in) である必要があります。
- M12x50 フランジボルト 2 本およびロックナット 2 個 (C) を使用して、フォワードリフトリンク (B) をモアデッキに固定します。ロックナットを完全に締め付ける前に、必要に応じて正しい距離に強制します。
- フロントリンクを上げてスプリングを完全に伸ばした状態でロッド (D) の端部をスロットに挿入します。

A：水平フレームの中心からボルトの中心までの距離
B：フォワードリフトリンク
C：ロックナット
D：ロッド



次のページへ

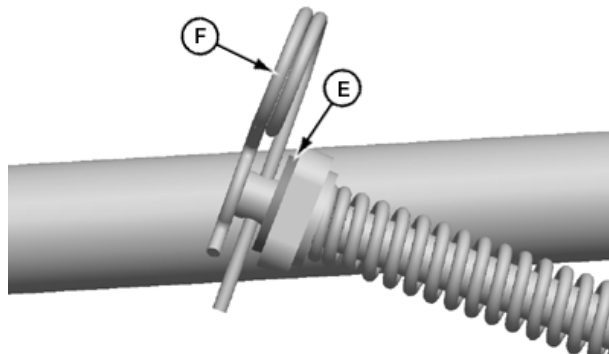
UP00731,0000053 -40-26AUG13-1/2

4. ローダーを取り付けたトラクターの場合：モアを取り外し時にローダーの部品がフォワードリンクに当たる場合があります。初期セットアップ中に、必要に応じて座金 (E) を追加してローダーの部品との接触を回避してください。

- ロッドの上部からスナップリテーナ (だるまピン) (F) を取り外します。
- 必要に応じて座金 (E) を追加してローダーの部品との接触を回避します。
- スナップリテーナ (だるまピン) を取り付けます。

E：座金

F：スナップリテーナ (だるまピン)



ローダーを取り付けたトラクター

UP00731,0000053 -40-26AUG13-2/2

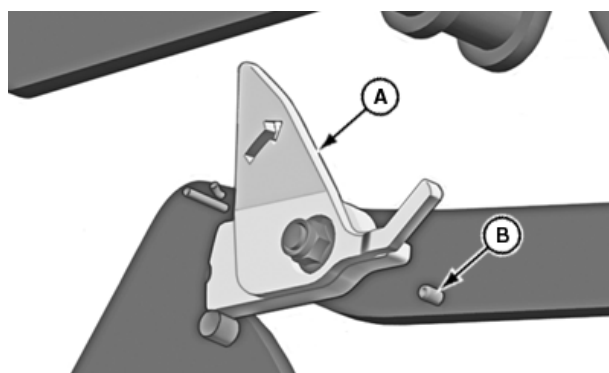
リアリフトリンクの組み立て

注記：キャビン付きトラクターにキットを取り付ける場合は、ロック (A) とロールピン (B) を別途注文する必要があります。

1. キャビン付きトラクターの場合：リアリンクの左側のロックを新品のロック (A) に交換します。リアリフトリンクの外側からロールピン (B) を押します。ロールピンは新品のロックのシートメタルから外れている必要があります。

A：ロック

B：ロールピン



リアリフトリンクの内側から見た図。取り付け／ロックされた位置のロック

UP00731,0000054 -40-26AUG13-1/2

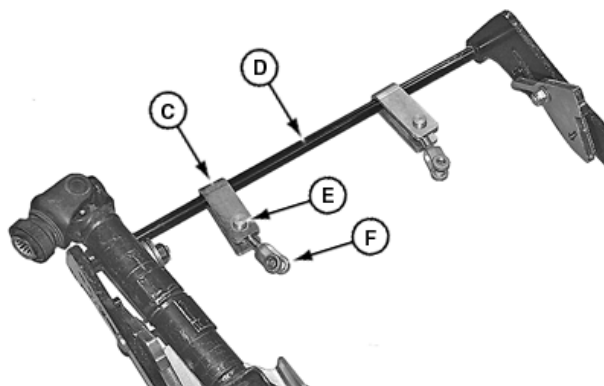
2. リンクピン 2 個 (E)、調整式ヨーク (F) と一緒に U ブラケット 2 個 (C) をリアリフトリンク (D) に取り付けます。

C：U ブラケット

D：リアリフトリンク

E：リンクピン

F：ヨーク



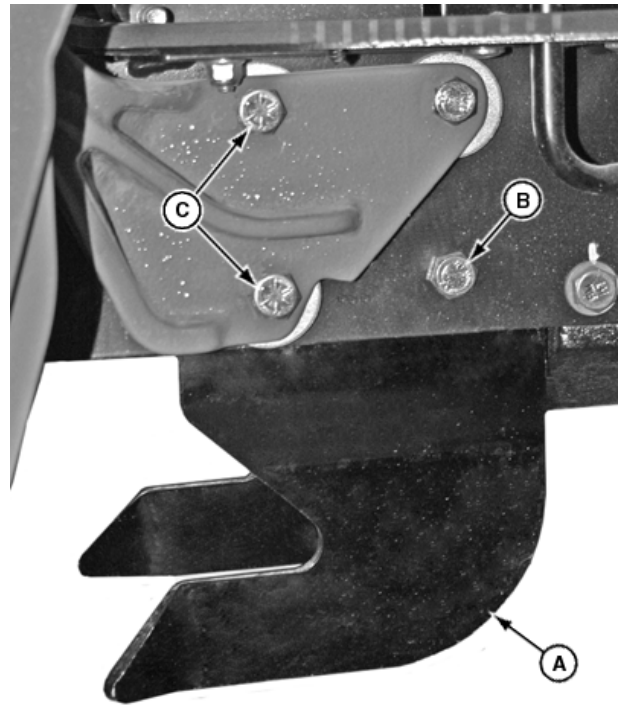
UP00731,0000054 -40-26AUG13-2/2

ハンガーの取り付け

フロントヒッチなしのトラクターへのハンガーの取り付け

1. 左ハンガー (A) を取り付けます。
 - a. グリルガード付きトラクターの場合：M12x45 フランジボルト 1 本 (B)、M12x65 フランジボルト 2 本 (C)、M12 ロックナット 3 個を使用して、トラクターフレームの内側に左ハンガー (A) を取り付けます。
 - b. グリルガードなしのトラクターの場合：M12x45 フランジボルト 3 本 (B)、(C) および M12 ロックナット 3 個を使用して、トラクターフレームの内側に左ハンガー (A) を取り付けます。
2. 右ハンガーの取り付け。
3. ハンガーの底部を後方にいっぱいまで引っ張り、金具を 130 N·m (96 lb-ft) のトルクで締め付けます。

A: ハンガー
B: フランジボルト
C: フランジボルト



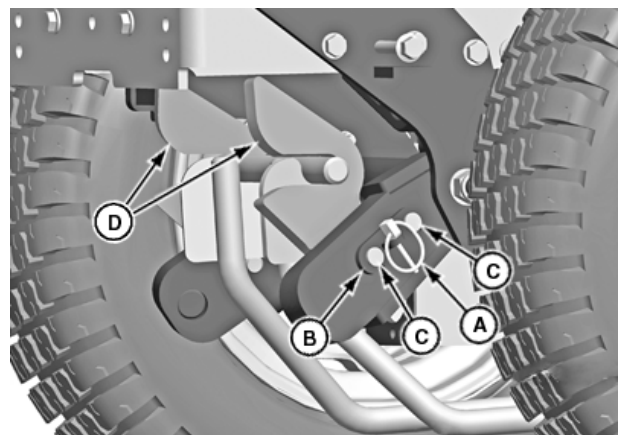
グリルガード付きトラクターのハンガー

UP00731,000008F -40-05SEP13-1/2

フロントヒッチ付きのトラクターへのハンガーの取り付け

注記：このキットに付属のハンガーは、フロントヒッチなしのトラクター用です。フロントヒッチ付きのトラクターにキットを取り付ける場合、別のハンガーを購入して取り付ける必要があります。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

1. 油圧装置を使用してフロントヒッチを完全に下降させます。
2. フローバルブを完全に閉めます。
3. SCV からフロントヒッチホースを外して、邪魔にならない位置に結束します。
4. ヒッチアームをフロントヒッチの構造部に固定しているロッキングリング (A) を取り外します。
5. 新しいハンガー (D) を挿入できる程度にブラケット (B) とピン (C) を引っ張ります。
6. ハンガーの穴にピン (C) を通してロッキングリング (A) を交換します。



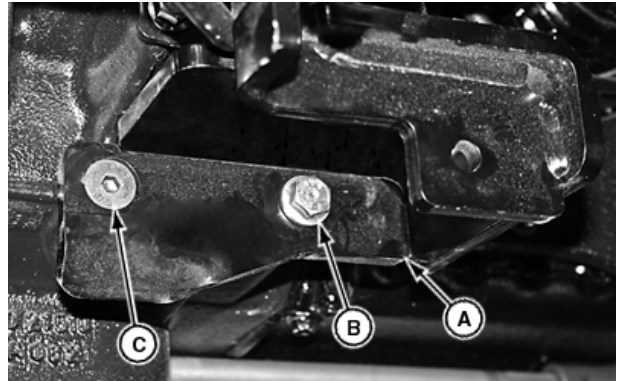
A: ロッキングリング
B: ブラケット
C: ピン
D: ハンガー

UP00731,000008F -40-05SEP13-2/2

ブラケットの取り付け

1. M12x30 六角ボルト 1 本 (B) および M12x30 六角穴付きボルト (C) を使用してトラクターに右ブラケット (A) を取り付けます。ブラケットを前方にいっぱいまで押して金具を締め付けます。

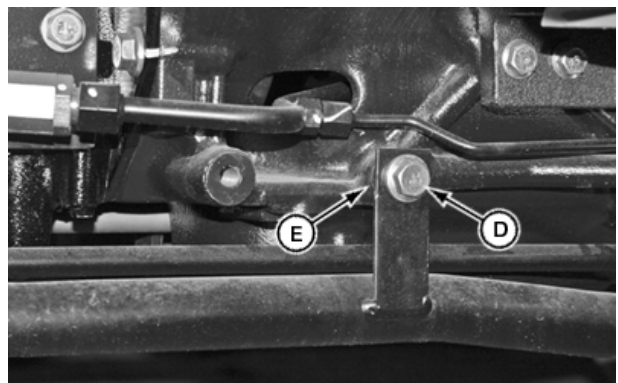
A: ブラケット
B: 六角ボルト、M12x30
C: 六角穴付きボルト、M12x30



UP00731,0000057 -40-05SEP13-1/3

2. トラクターの左側のサクシオン側ろ過チューブからボルト (D) とスペーサ (E) を取り外します。

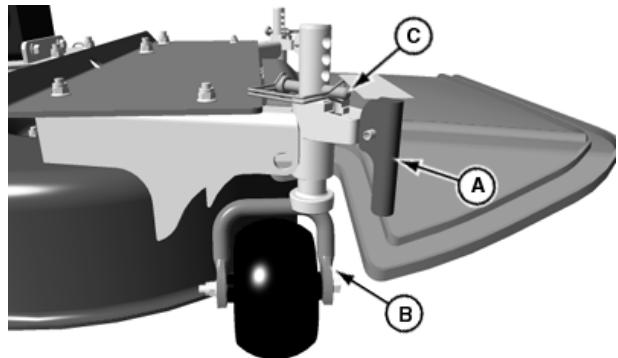
D: ボルト
E: スペーサ



UP00731,0000057 -40-05SEP13-2/3

3. タブ (G) の背後の右ブラケット (F) の端部をスライドさせます。ブラケットを前方いっぱいまで押して、M12x30 六角ボルト 2 本 (H) を使用して固定します。

F: ブラケット
G: タブ
H: 六角ボルト、M12x30



UP00731,0000057 -40-05SEP13-3/3

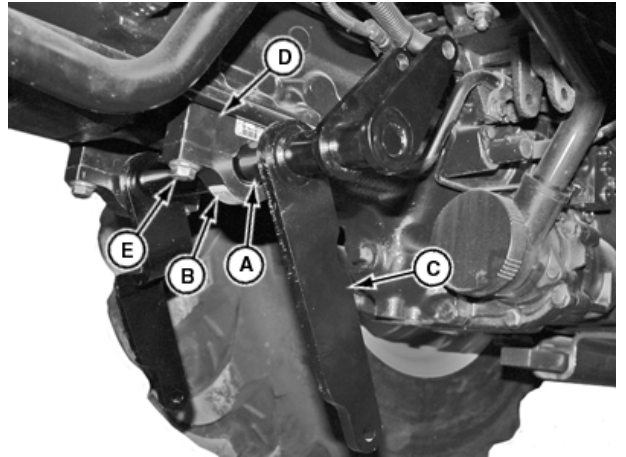
中間揺動軸の取り付け

注記：揺動軸ブッシング (A) が正しく密着していることを確認しながらハーフクランプを締め付けます。正しく密着していない場合、ブッシングが損傷している可能性があります。

1. フランジの端部をトラクターの中心線に向けて、ハーフクランプ (B) と中間揺動軸 (C) の間に揺動軸ブッシング (A) を取り付けます。
2. 中間揺動軸の上部にブロッククランプ (D) を取り付け、M12x90 六角ボルト 4 本 (E) を使用してすべての部品をトラクターに取り付けます。
3. ボルトをトルク 130 N・m (96 lb-ft) で締め付けます。

A : 揺動軸ブッシング
B : ハーフクランプ
C : 揺動軸

D : ブロッククランプ
E : 六角ボルト、M12x90

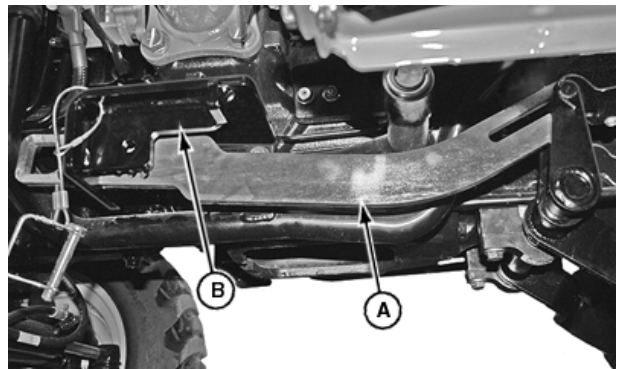


UP00731,0000058 -40-05SEP13-1/1

高さ調整リンクの取り付け

1. 高さ調整リンク (A) を左ブラケット (B) にスライドさせて入れます。

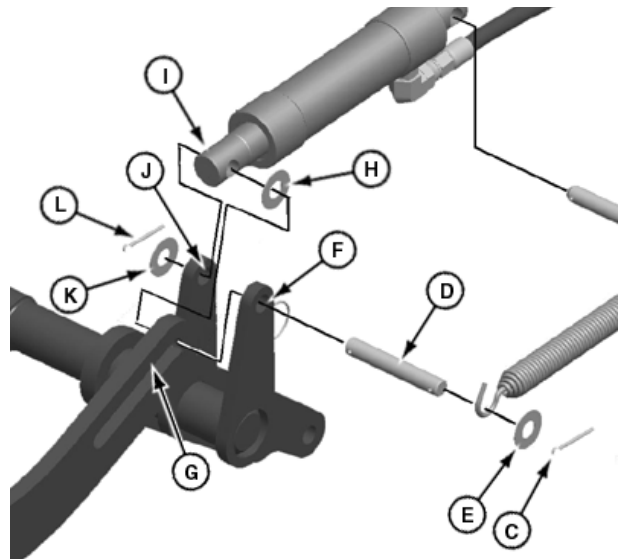
A : 高さ調整リンク
B : ブラケット



UP00731,0000059 -40-05SEP13-1/4

2. シリンダロッドエンドおよびハイトロックリンクを揺動軸に取り付けます。コッタピン (C) を揺動軸ピン (D) の端部に挿入します。座金 (E)、揺動軸の最初のアーム (F)、高さロックリンクのスロット (G)、座金 (H)、シリンダのロッドエンド (I)、揺動軸の 2 番目のアーム (J)、最後の座金 (K) に通してピンを押し込みます。コッタピン (L) で固定します。図のように座金を取り付けられていることを確認します。

C : コッタピン
D : 揺動軸ピン
E : 座金
F : 揺動軸のアーム
G : ロックリンク
H : 座金
I : シリンダ
J : 揺動軸のアーム
K : 座金
L : コッタピン



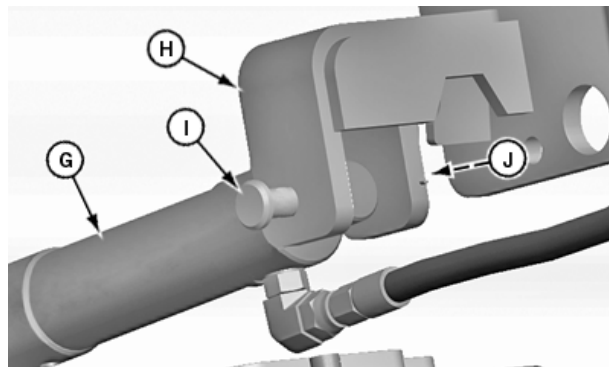
次のページへ

UP00731,0000059 -40-05SEP13-2/4

注記：キャビン付きトラクターにリフトキットを取り付ける場合は、シリンダを取り付ける前にブラケットを別途購入する必要があります。

3. キャビン付きトラクターの場合：M12x70 ドリルピン (I) とロッキングリング (J) を使用して、シリンダのヘッドエンド (G) をブラケット (H) に取り付けます。

G：シリンダ
H：ブラケット
I：ドリルピン、M12x70



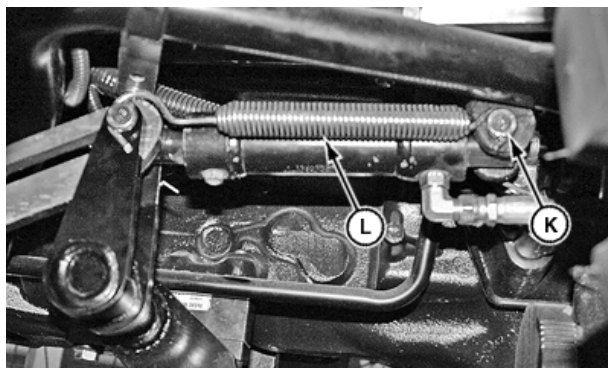
キャビン付きトラクター

UP00731,0000059 -40-05SEP13-3/4

4. M12x70 ドリルピン (K)、座金、コッタピンを使用してシリンダの他端を固定します。

5. 端部を下に向けてスプリング (L) を取り付けます。

K：ドリルピン M12x70
L：スプリング



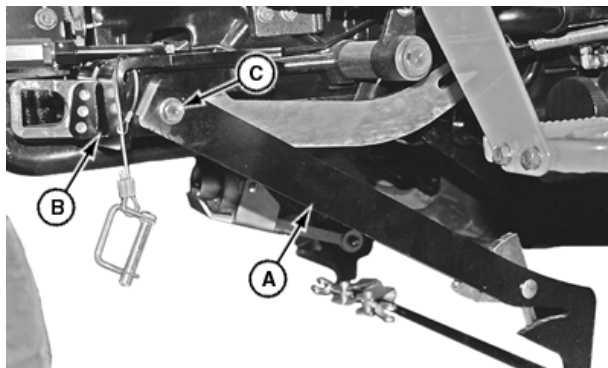
UP00731,0000059 -40-05SEP13-4/4

リフトキットの取り付け完了

1. M12x50 フランジボルト 1 本、ブッシング 1 個、M12 ロックナット 1 個 (リフトリンクの外側に取り付け) (C) を使用して、リアリフトリンク (A) を左ブラケット (B) に固定します。

2. リアリフトリンクを右ブラケットに固定します。

A：リフトリンク
B：ブラケット
C：ボルト、ブッシング、ロックナット

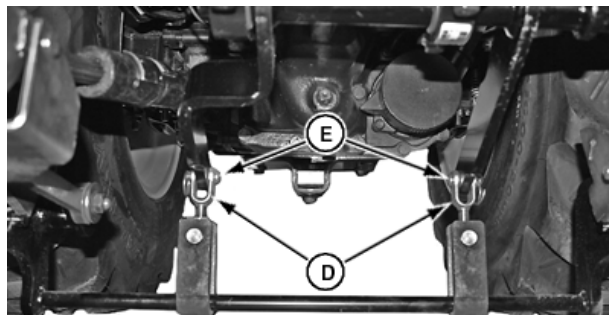


次のページへ

UP00731,000005A -40-26AUG13-1/3

3. M12x35 ドリルピン 2 本 (E) およびロッキングリング 2 個を使用して、調整式ヨーク (D) を中間揺動軸に取り付けます。
4. ミッド PTO シャフトを取り付けます。
5. 油圧シリンダホースをトラクターの後部に取り回して第 3 SCV に取り付けるか、デュアル SCV の回転回路に取り付けます。
6. リアリフトリンクの右アームのリア側の穴にスナップリテーナ (だるまピン) 1 個を取り付けます。左ブラケットの穴にスナップリテーナ (だるまピン) を取り付けます。

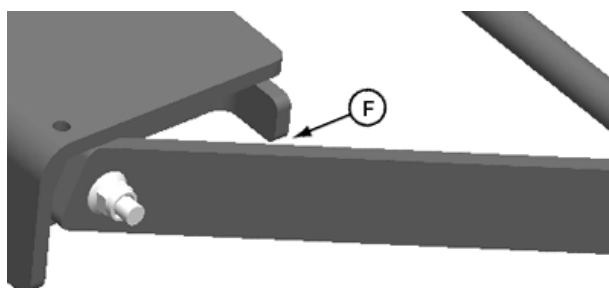
D : 調整式ヨーク
E : ドリルピン、M12x35



UP00731,000005A -40-26AUG13-2/3

7. トラクターを始動してリフトシステムを徐々に上昇させます。リアリンクのアームは、トランスミッションに取り付けられているブラケットの後部のストップから 1~2 mm (0.04~0.08 in) (F) 離れている必要があります。

F : アームはストップから 1~2 mm (0.04~0.08 in) 離れている必要があります



UP00731,000005A -40-26AUG13-3/3

取り付け

作業機の準備

必要な装置：

- トラクターミッド (PTO)
- モアリフトキット

機械のセットアップ：

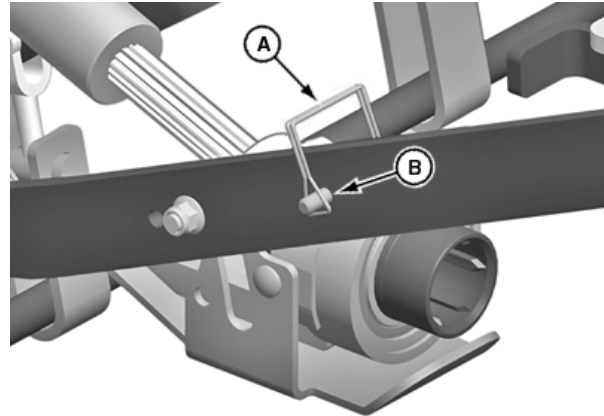
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。
2. 機械のオペレータマニュアルの指示に従ってタイヤ圧力を点検します。
3. このマニュアルの「組み立て」の指示に従います。

UP00731,000005F -40-26AUG13-1/1

トラクターおよび PTO カプラーの準備

1. リフトシステムを完全に上昇させます。
2. ハイトロックからピンを取り外します。
3. リフトシステムを完全に下降させます。
4. カプラーサポートからスナップロックピンを取り外して、サポートを完全に降ろします。
5. リフトリンクの前方の保管用穴 (B) にピン (A) を取り付けます。

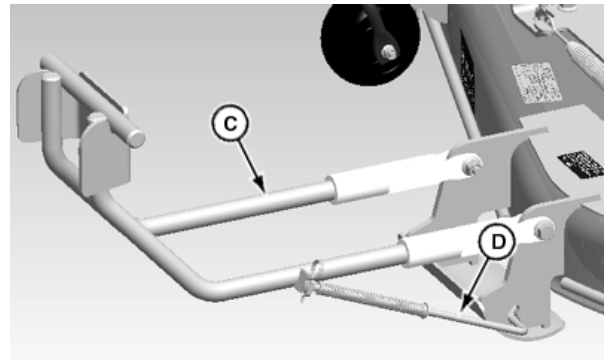
A：ピン
B：保管用穴



UP00731,0000060 -40-26AUG13-1/3

6. モアのフロントリンク (C) がデッキの上部から展開されていること、およびスプリングロッド (D) がデッキ前部のスロットに挿入されていることを確認します。

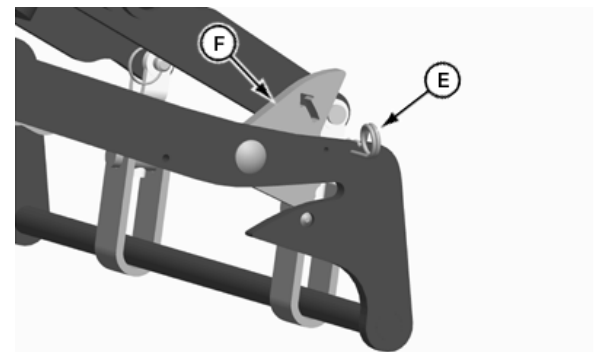
C：フロントリンク
D：スプリングロッド



UP00731,0000060 -40-26AUG13-2/3

7. スナップリテーナ (だるまピン) (E) は保管位置にある必要があり、ロック (F) は取り付け／ロック位置にある必要があります。

E：スナップリテーナ (だるまピン)
F：ロック



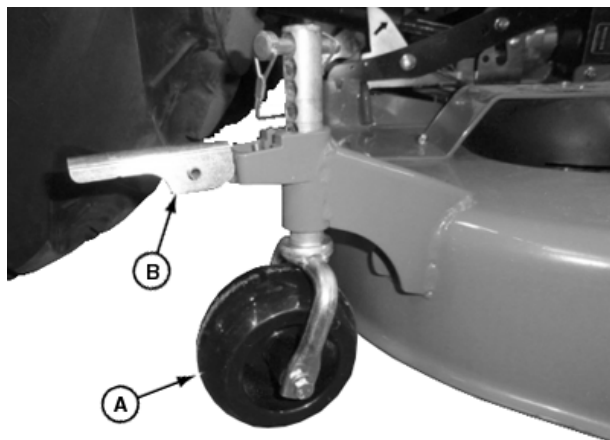
UP00731,0000060 -40-26AUG13-3/3

トラクターへのモアデッキの取り付け

1. デッキが地面に平行にしっかりと固定されていることを確認します。非常に滑らかな面では、トラクターでデッキを押しことができます。
2. ハンドル (B) を地面に平行にして、4 つのモアデッキゲージホイール (A) すべてがロック解除位置にあることを確認します。デッキは地面の上に完全に静止している必要があります。
3. トラクターを A レンジ 4 輪駆動にします。
4. 以下の手順に従ってトラクターを運転してモアデッキの上に移動します。

注記：説明書で指示されているようにドライバーはトラクターの側部に注意を払う必要があります。また、モアデッキまで運転中に、一方の側から他の側へ前後に見ないようにする必要もあります。滑らかに前進運転します。

- 60 D モア：ランプの右ドライブの角度のあるエッジ (C) から約 1/2-in に右フロントタイヤを整列させてトラクターをモアデッキの上に運転します。
- 72 D モア：ランプの左ドライブのワイヤフォーム (D) から約 1/2-in に右フロントタイヤを整列させてトラクターをモアデッキの上に運転します。

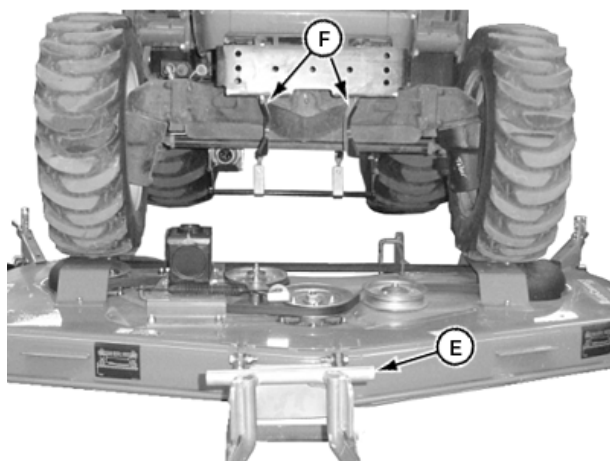
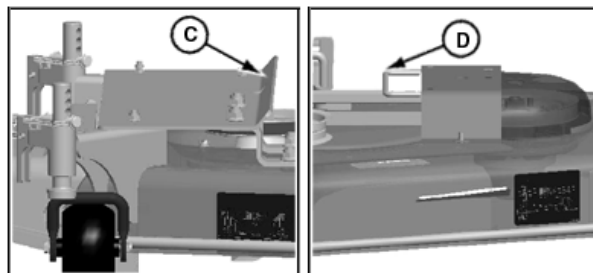


A : ゲージホイール
B : ハンドル

UP00731,0000061 -40-26AUG13-1/5

5. フォワードリフトリンク (E) がハンガー (F) と整列するまで、トラクターをゆっくりと滑らかに、まっすぐモアデッキの上に運転します。
6. モアデッキが早期に前方に引きずられる場合、またはリフトシステムに接触していることが確認された場合は、トラクターを後退させ、もう一度前進させます。モアデッキが正しく取りつかない場合は、トラクターを停止し、パーキングブレーキをかけ、トラクターから降りて問題の原因を特定します。

C : 角度のあるエッジ
D : ワイヤフォーム
E : フォワードリフトリンク
F : ハンガー



次のページへ

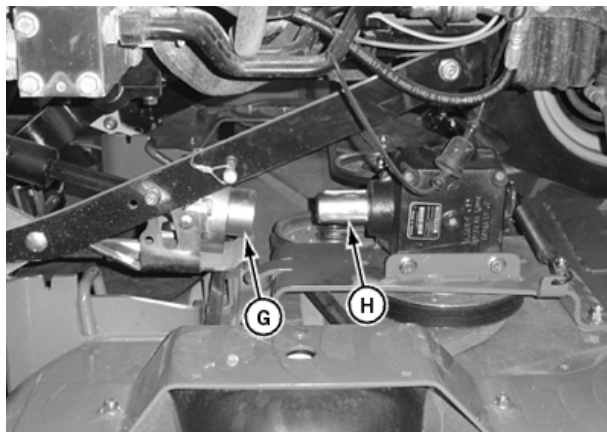
UP00731,0000061 -40-26AUG13-2/5

7. PTO カプラー (G) はギアボックスカプラー (H) と整列します。

8. モアがトラクターの前輪の約 102 mm (4 in) 後方で地面に沿って引かれ始めるまで、トラクターをゆっくりと前進させます。

G : PTO カプラー

H : ギアボックスカプラー

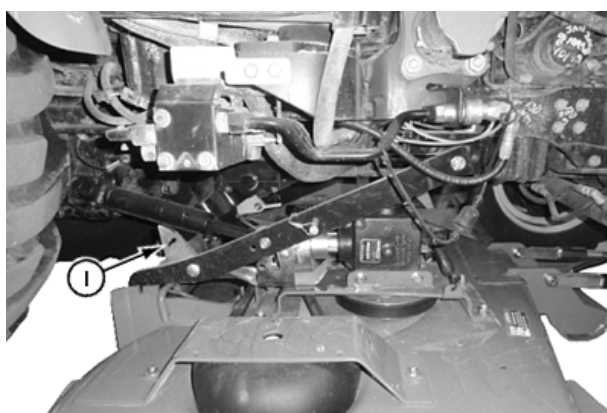


UP00731,0000061 -40-26AUG13-3/5

9. トラクターから降りて、両側のロック (I) が図のようにロック位置に降下していることを確認します。ロックをかみ合わせるために、モアを後方に少し引っ張らなければならない場合があります。フロントリンクが短すぎる場合、最初の取り付け時にモアがロック位置にならないことがあります。

10. スナップリテーナ (だるまピン) をロック位置に取り付けます。

I : ロック



UP00731,0000061 -40-26AUG13-4/5

11. フォワードリフトリンク (J) がハンガー (K) の中にあることを確認します。

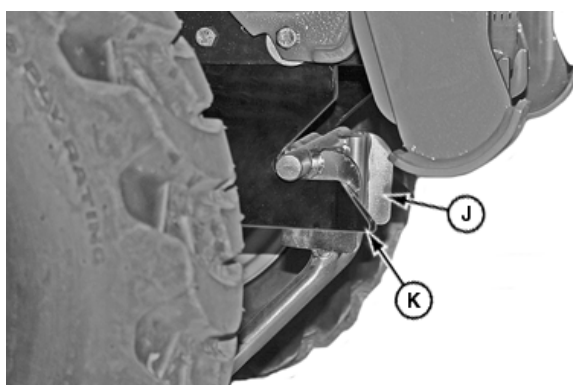
12. エンジンを始動してモアをいっぱいの高さまで持ち上げます。

13. ハイトロックを前方いっぱいまで引き、ピンを輸送用の直近の穴に入れるか、リンクを必要な高さに設定します。

14. ハンドルを押し下げてすべてのゲージホイールをロックし、ロックピンが縦のロッドに完全に密着していることを確認します。

J : フォワードリフトリンク

K : ハンガー

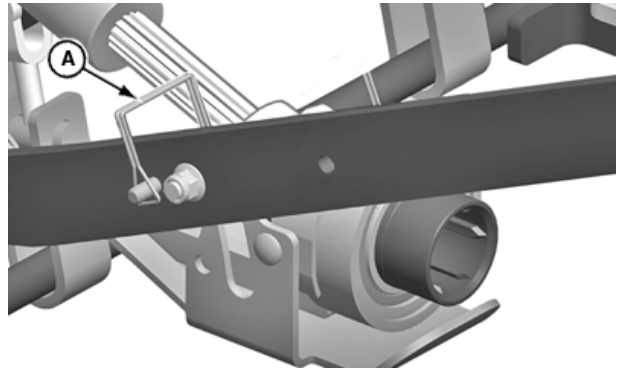


UP00731,0000061 -40-26AUG13-5/5

取り外しと保管

モアの取り外し

1. 作業機を傾斜面ではなく水平な場所に駐車します。
2. パーキングブレーキをロックします。
3. モアのブレードの接続を解除します。
4. モアデッキを降ろすためにトラクターを前方に動かすことができること、およびトラクターのホイールを旋回させる前にデッキから完全に後退できる十分なスペースがあることを確認します。
5. トラクターを A レンジ 4 輪駆動にします。
6. モアデッキを完全に上昇させてゲージホイールのロックを解除します。
7. ハイトロックからピンを取り外します。
8. スナップリテーナ (だるまピン) を取り外して、後部の保管用穴に配置します。
9. モアデッキを地面に下ろし、リアロックを前方 (矢印の方向) に押して解放します。ロックが固着している場合は、モアデッキのロックが固着している側を少し後方に引っ張り、次にロックを前方に押します。
10. トラクターをゆっくりとまっすぐに後退させてモアデッキから離します。
11. 保管した状態からモアを復帰させる場合は、フォワードリフトリンクを上昇させ、ワイヤフォームをゆっくりと側方に引いて、フォワードリフトリンクをデッキ上に折りたたみます。



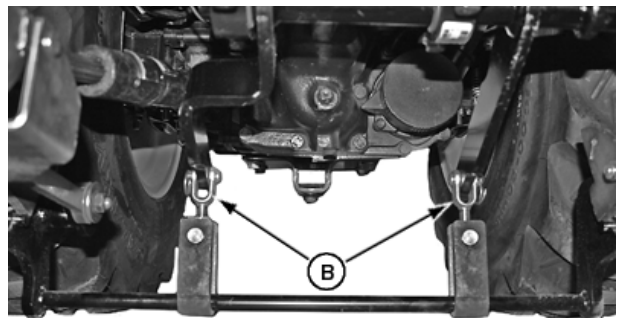
A : ロックピン

12. リフトシステムを完全に上昇させ、ハイトロックの上に前方に引っ張って、連結ピンを直近の穴に差し込み、最も高い位置にロックします。
13. 14 に示すようにカプラーサポートを持ち上げ、スナップロックピン (A) を取り付けてロックします。ミッド PTO
14. ミッド PTO を他の用途に使用する場合 :
 - a. リフトリンクを輸送位置にロックします。
 - b. カプラーを引っ張ってミッド PTO からクイックコネクトドライブシャフトを取り外します。

UP00731,0000062 -40-26AUG13-1/3

- c. 中間揺動軸 (B) からヨークを取り外します。

B : ヨーク



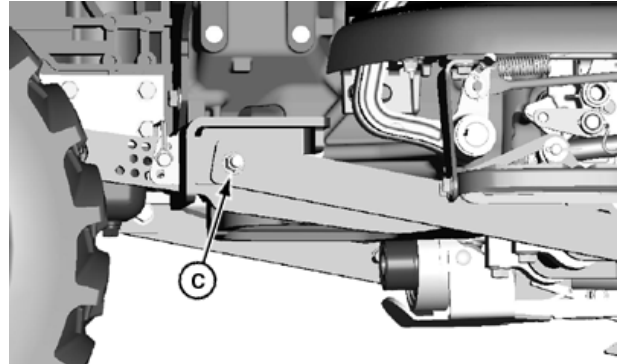
次のページへ

UP00731,0000062 -40-26AUG13-2/3

d. リアリフトリンクを両側のブラケットに固定しているボルト (C)、ブッシング、ロックナットを取り外します。

e. すべての金具をリアリフトリンクに取り付けた状態にして、後で使用するために保管します。

C : ボルト



UP00731,0000062 -40-26AUG13-3/3

モアの保管

⚠ 警戒：ブレードは鋭利です。モアデッキを機械に取り付けて保管しないでください。また、ブレードを露出させた状態で機械から取り外さないでください。モアデッキを地面に平らに横たえて保管します。

1. 機械からモアを取り外します。(モアを機械に取り付けて機械を保管する場合は、機械のオペータマニュアルの「機械の保管」を参照してください)。
2. 水圧またはスクレーパを使用してモアの下側を清掃します。
3. ブレードの点検：
 - 切れが鈍くなったブレードは研磨してバランスを取ります。
 - 損傷しているブレードは交換します。
4. デッキ上部およびすべてのシーブの周囲を清掃します。

5. ベルトの状態を点検します。必要に応じて、新品のベルトに交換します。保管状態からモアを復帰させるまで新品のベルトは取り付けしないでください。
6. 摩耗や損傷のある部品は修理または交換します。
7. 錆止めが必要な箇所にタッチアップペイントを塗ります。
8. グリースポイントを潤滑します。
9. ベルトの張力を解放します。
10. 清潔で乾燥した場所にモアを保管します。
11. モアを屋外に保管する場合は、防水カバーで覆います。

UP00731,0000063 -40-26AUG13-1/1

操作

モアの上昇・下降

1. 機械のオペレータマニュアルに付属のデュアル選択制御弁および第3制御弁の使用に関する説明を参照してください。
2. 輸送位置からモアを解除します。このマニュアルの「操作」の「機械でのモアの輸送」を参照してください。
3. 第3選択制御弁レバーまたはデュアルSCV機能を使用して、インプルメントを上昇・下降させるには、機械のオペレータマニュアルの指示に従ってください。

UP00731,0000064 -40-26AUG13-1/1

モアレベルの調整 (側方)



警戒：回転しているブレードは危険です。モアの調整または整備を行う前に、以下に従ってください。

- エンジンが誤って始動しないように、スパークプラグの配線またはバッテリーのマイナス (-) ケーブルを外します。
- モアのブレードを取り扱う時、またはブレードの周辺で作業する時は、必ずグローブを着用してください。

1. 作業機を傾斜面ではなく水平な場所に駐車します。
 2. パーキングブレーキをロックします。
 3. モアのブレードの接続を解除します。
 4. モアを完全に上昇させてエンジンを停止します。
 5. キーを抜きます。
 6. 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。
 7. ハイトロックピンを取り外します。
- 注記：レベリング中はモアのホイールを地面に接触させないでください。
8. 必要な刈り高までモアをゆっくりと下ろします。
 9. ハイトロックピンを完全に前方に引っ張って最初の穴にロックします。ピンで高さが支持されまでモアを下ろします。
 10. 地面から右ブレードおよび左ブレードまでの距離を測定します。
 11. 右または左リアリンクサポートから固定リングを取り外します。一度に1つのリンクのみを調整します。必要に応じてリンクを調整し、デッキを水平にします。固定リングを取り付けます。

UP00731,0000065 -40-26AUG13-1/1

モアレベルの調整 (フロント／リア)

1. 作業機を傾斜面ではなく水平な場所に駐車します。
 2. パーキングブレーキをロックします。
 3. モアのブレードの接続を解除します。
 4. モアを完全に上昇させてエンジンを停止します。
 5. キーを抜きます。
 6. 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。
 7. ハイトロックピンを取り外します。
 9. ハイトロックピンを完全に前方に引っ張って最初の穴にロックします。ピンで高さが支持されまでモアを下ろします。
 10. 地面から左右のブレードの前部と後部までの距離を測定します。
- 注記：モアの前部は後部よりも必ず低くする必要があります。
11. 前部の測定値は、後部よりも 0～3.18 mm (0～1/8 in) 低い必要があります。
 12. 必要に応じて、デッキを取り外してヨークを調整し、必要な測定値を得ます。
 13. ロックが解放しないまたは簡単にロックされる場合、フロントリンクを少し緩める必要がある場合があります。ロックが固着している場合、反対側のフロントヨークを少し締め付ける必要がある場合があります。

UP00731,0000066 -40-26AUG13-1/1

モアホイールの調整

⚠ 警戒：回転しているブレードは危険です。モアの調整または整備を行う前に、以下に従ってください。

- エンジンが誤って始動しないように、スパークプラグの配線またはバッテリーのマイナス (-) ケーブルを外します。
- モアのブレードを取り扱う時、またはブレードの周辺で作業する時は、必ずグローブを着用してください。

重要：損傷を防止してください！ モアホイールを不適切に調整すると、モアデッキが損傷する可能性があります。

- 走行中のホイールにモアの重量がかからないようにしてください。
- 刈り高を変更するたびに、ホイール調整を点検してください。

1. 作業機を傾斜面ではなく水平な場所に駐車します。
2. モアのブレードの接続を解除します。
3. モアを完全に上昇させます。
4. パーキングブレーキをロックします。

5. エンジンを停止します。
6. キーを抜きます。
7. 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。
8. ハイトロックピンで刈り高を設定し、モアの重量がハイトロックにより支持されるまでモアを下げます。
9. ゲージホイール高さの設定：
 - a. ホイールロックを解放します。
 - b. 地面から 3/8-in の距離にホイールを調整してからホイールをロックします。

重要：損傷を防止してください！ 少なくとも 1 つの穴がロックブラケットの上に残っていることを確認します。極端な芝刈り条件では、ホールを完全に引っ込めて損傷を防止します。

- c. ゲージホイールブラケットのすぐ上にある穴にスナップロックピンを取り付けます。

UP00731,0000067 -40-26AUG13-1/1

高さ調整リンクの使用

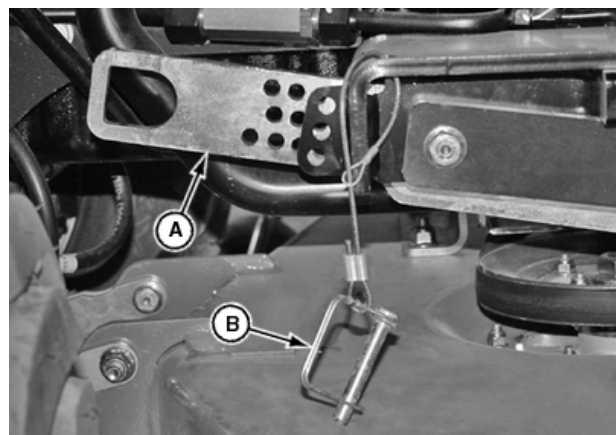
輸送の場合

注記：モアを最高（輸送）位置にして芝刈りを行わないでください。最高位置から 25 mm (1 in) 以上下の位置で芝刈りを行ってください。

- デッキを最高位置まで上げて、リンクを前方に引っ張り、直近の穴にピンを取り付けます。ピンを輸送位置に挿入した後、デッキを下げます。

刈り高を設定するには

1. 必要な刈り高までモアをゆっくりと下ろします。
2. 高さ調整リンク (A) をいっぱいまで前方に引っ張り、直近の穴にピン (B) を取り付けます。将来調整用の穴の位置に注意してください。
3. モアを下げます。



A: 高さ調整リンク
B: ピン

4. 刈り高が低すぎる場合は、モアを上げてピンを取り外し、隣接する穴にピンを取り付けてモアを下げます。高さ調整リンクの穴により、1/2 in (13 mm) 単位で調整できます。

UP00731,0000068 -40-26AUG13-1/1

モアの接続

1. 機械のオペレータマニュアルに付属のミッド PTO の使用に関する説明を参照してください。
2. 機械のオペレータマニュアルの指示に従ってミッド PTO とモアを接続します。

UP00731,0000069 -40-26AUG13-1/1

モアの詰まりの除去



警戒：けがを防止してください！ 機械作動中に付属装置を外さないでください。

- 回転しているブレードは危険です。機械と付属装置を点検するために席を離れる前に、エンジンをオフにし、キーを取り外します。
- 物体が飛ぶと、重大な損傷を引き起こす可能性があります。ホッパートップを上げたり、シュートを取り外す前に、すべての機械の部品が停止していることを確認してください。

1. 機械を安全に駐車します。動いている部品がすべて停止してから、機械から降りて機械を点検します。
2. ごみがないかモアデッキの下および排出シュートを点検します。

UP00731,000006A -40-26AUG13-1/1

機械に載せたモアの輸送

1. モアの左側のハイトロックピンを取り外します。
2. ハイトリンクを前方にいっぱいまで引き、リンクが最も高い位置になる穴にピンを取り付けます。

UP00731,000006B -40-26AUG13-1/1

整備

整備間隔

10 時間ごと

- 乾燥した条件で操作している場合は、モアからごみを除去します。

25 時間ごと

- スピンドルの潤滑
- ドライブシャフトの潤滑
- モアブレードの点検
- モアベルトの点検

100 時間ごと

- ギアボックスオイルレベルの点検
- モアの洗浄

500 時間ごと

- ギアボックスオイルの交換

UP00731,000006C -40-26AUG13-1/1

グリース

重要： 損傷を防止してください！ 部品の故障や早期摩耗を回避するために、推奨される John Deere グリースを使用してください。推奨 John Deere グリースは、平均気温 -29～135°C (-20～275°F) の範囲で有効です。この温度範囲外で運転する場合は、特殊用途グリースについて整備取扱店にお問い合わせください。

推奨グリースを使用していない場合は、NLGI Grade 2 の一般的な汎用グリースを使用していることを確認してください。

湿潤または高速条件では、特殊用途用のグリースを使用しなければならない場合があります。詳しくは、整備取扱店にお問い合わせください。

次のグリースをお勧めします。

- John Deere Multi-Purpose SD Polyurea Grease
- John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease

UP00731,000006E -40-26AUG13-1/1

ギアオイル

次のオイル交換までの期間に予期される気温範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

MIL 規格 MIL-L-10324A に適合するオイルは極寒冷地用オイルとして使用できます。

John Deere GL-5 ギア潤滑剤を推奨します。

以下のいずれかに適合する他のオイルも使用できます。

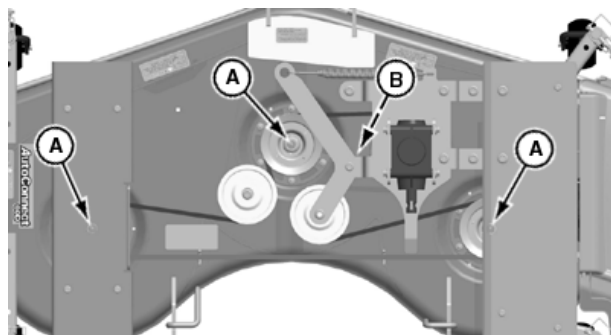
- API 整備点検等級 GL-5
- MIL 規格 MIL-L-2105D
- MIL 規格 MIL-L-2105C
- MIL 規格 MIL-L-2105B

UP00731,000006F -40-26AUG13-1/1

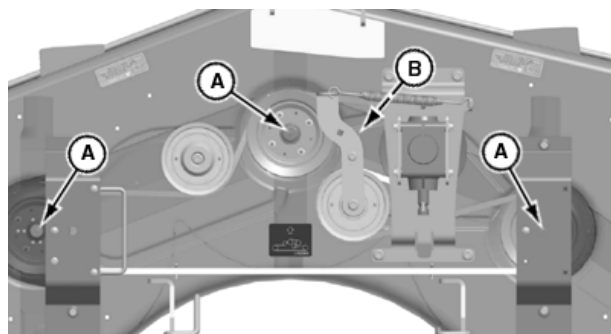
モアの潤滑

1. シープのグリースフィッティング 3 箇所 (A) を推奨グリースで潤滑します。
2. テンショナプーリーのグリースフィッティング (B) を推奨グリースで潤滑します。

A: シープのグリースフィッティング
B: テンショナプーリーのグリースフィッティング



60D モア

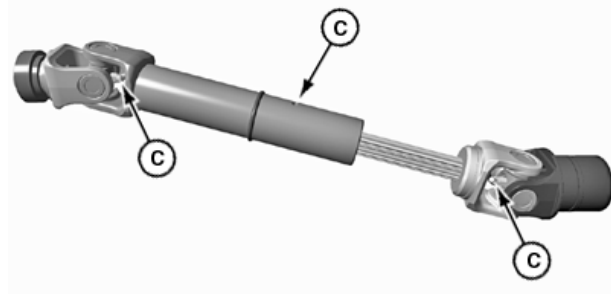


72D モア

UP00731,0000070 -40-05SEP13-1/2

3. ミッド PTO のグリースフィッティング 3 箇所 (C) を推奨潤滑剤で潤滑します。

C: ミッド PTO のグリースフィッティング



UP00731,0000070 -40-05SEP13-2/2

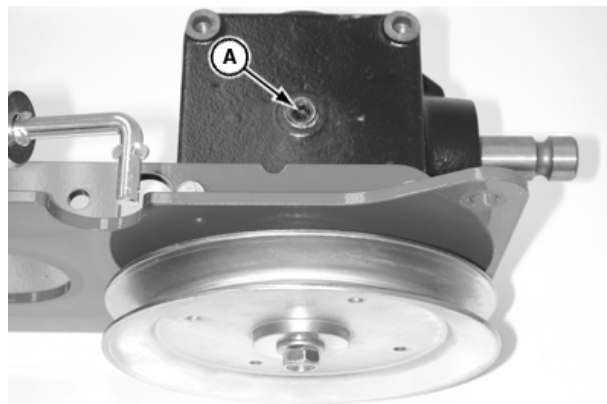
ギアボックスの整備

オイルレベルの点検

1. ギアボックスの片側からプラグを取り外します。
2. オイルレベルはプラグ穴の下端と一致している必要があります。
3. オイルレベルが低い場合は、推奨オイルを追加します。
4. プラグを取り付けます。

オイルの交換

1. ギアボックスブラケットと一緒にギアボックスを取り外します。「整備」セクションの「ベルトの取り外し」を参照してください。
2. ギアボックスの両側からプラグ (A) を取り外します。
3. ギアボックスブラケットを持ち上げて回転させ、オイルをギアボックスから排出させます。
4. ギアボックスブラケットをボルト 5 本に取り付けるときに、ギアボックスシーブにベルトを取り回します。「整備」の「ベルトの取り付け」を参照してください。
5. 「整備」の「ベルトの取り付け」の残りの説明に従って、ギアボックスとロッドを取り付けます。
6. ギアボックスのプラグ穴の下端まで推奨オイルを追加します。
7. プラグを取り付けます。



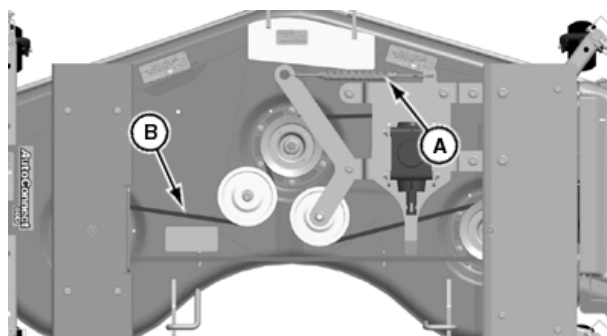
A: プラグ

UP00731,0000071 -40-05SEP13-1/1

モアベルトの整備

ベルトの取り外し

1. 機械からモアを取り外します。
2. ランプの周囲および下部を清掃します。
3. 60 D モア
 - a. スプリング (A) を取り外してベルト張力を解放します。
 - b. モアからベルト (B) を取り外します。
4. 72 D モア

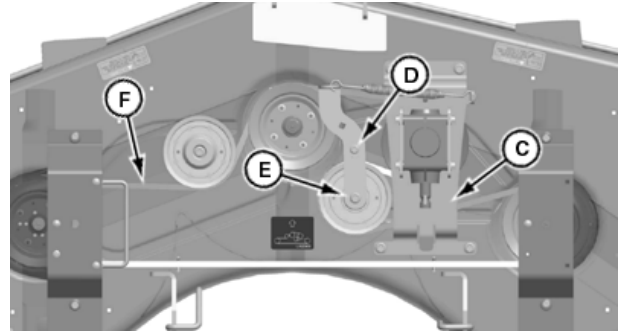


A: スプリング
B: ベルト

次のページへ

UP00731,0000072 -40-05SEP13-1/2

- ナット 4 個を取り外してギアボックスサポート (C) を取り外します。
- ナット、座金、テンショナ (D) を取り外します。
- テンショナプーリー (E) を固定しているボルトおよび金具を取り外します。
- モアからベルト (F) を取り外します。



C : ギアボックスサポート
D : テンショナ
E : テンショナプーリー
F : ベルト

ベルトの取り付け

- シーブの周囲にベルトを取り付けて図のように取り回します。
- 60 D モア : スプリングを取り付けます。
- 72 D モア : テンショナプーリー、テンショナ、ギアボックスサポートを取り付けます。

UP00731,0000072 -40-05SEP13-2/2

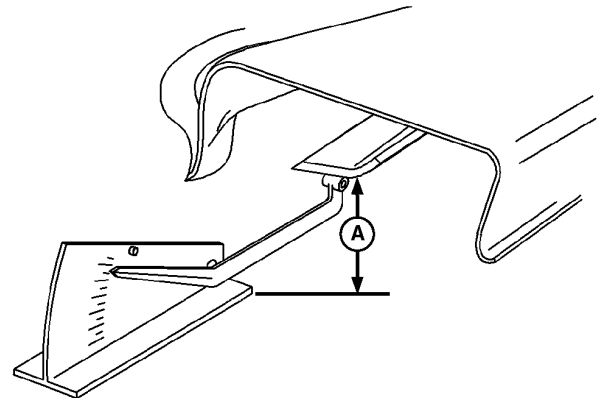
モアブレードの整備

⚠ 警戒 : けがを防止してください ! ブレードは鋭利です。ブレードを取り扱う時、またはブレードの周辺で作業する場合は、必ず手袋を着用してください。

不良な場合はブレードを交換します。絶対にまっすぐ伸ばしたり溶接したりしないでください。

曲がったモアブレードの点検

- 作業機を傾斜面ではなく水平な場所に駐車します。
- モアのブレードの接続を解除します。
- モアを完全に上昇させます。
- パーキングブレーキをロックします。
- エンジンを停止します。
- キーを抜き取ります。
- 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。
- モアをブロックします。



A : 距離 : ブレードから水平面まで

- ブレードの選択から水平面までの距離 (A) を定規または John Deere 取扱店で入手できるレベリングゲージを使用して測定します。
- ブレードを 180° 回転させ、ブレードの他端と水平面の間の距離を測定します。
- すべてのブレードを点検します。測定値の差が 3 mm (1/8 in) を超えている場合は、新品のブレードを取り付けます。

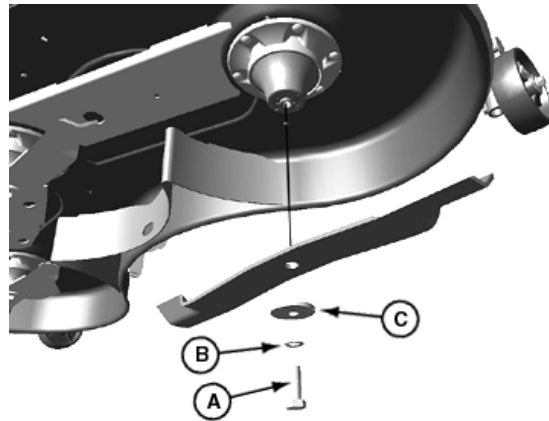
次のページへ

UP00731,0000090 -40-05SEP13-1/5

モアブレードの取り外し

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。
2. 機械からモアを取り外します。
3. 適切なリフト装置を使用してモアを上昇させ、ブレードにアクセスします。
4. ブレードとモアの間にウッドブロックを挿入して、ボルトを取り外すときにブレードが回転しないようにします。
5. ボルト (A)、座金 (B)、座金 (C)、ブレードを取り外します。

A: ボルト
B: 座金
C: 座金

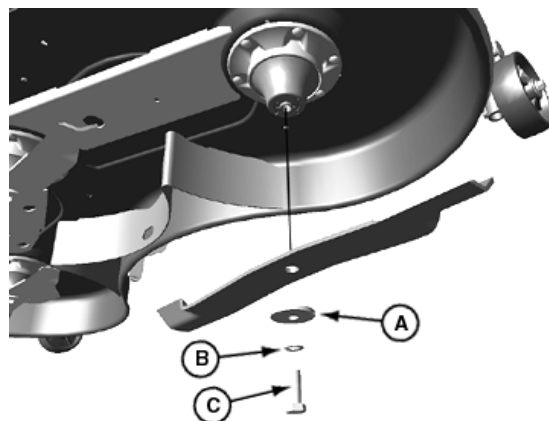


UP00731,0000090 -40-05SEP13-2/5

モアブレードの取り付け

1. 刃先を地面に向けてブレードを取り付けます。
2. ブレード、座金 (A)、座金 (B)、ボルト (C) を取り付けます。
3. ブレードとモアの間にウッドブロックを挿入して、ボルトを締め付けるときにブレードが回転しないようにします。
122 N•m (90 lb-ft) のトルクで締め付けます。

A: 座金
B: 座金
C: ボルト



UP00731,0000090 -40-05SEP13-3/5

ブレードの研磨

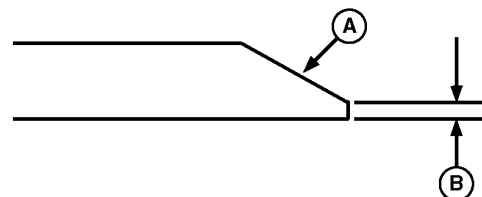
⚠ 警戒：けがを防止してください！ 回転しているブレードは危険です。モアの調整または整備を行う前に、以下に従ってください。

- エンジンが誤って始動しないように、スパークプラグの配線またはバッテリーのマイナス (-) ケーブルを外します。
- モアのブレードを取り扱う時、またはブレードの周辺で作業する時は、必ずグローブを着用してください。

1. グラインダ、やすり、電動ブレードシャープナーを使用してブレードを研磨します。

- 研磨中は本来の先端の斜角 (A) を残します。
- ブレードの刃先は 0.40 mm (1/64 in) 未満にする必要があります。

2. 取り付けるブレードのバランスを取ります。



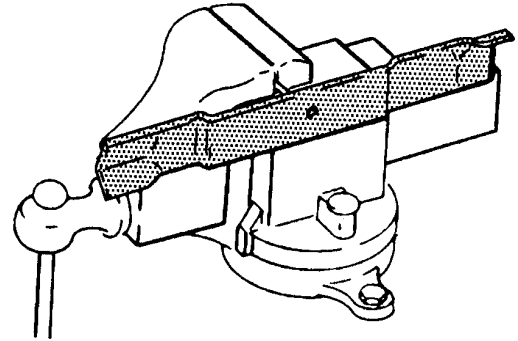
A: 先端の斜角
B: 刃先

次のページへ

UP00731,0000090 -40-05SEP13-4/5

ブレードのバランス調整

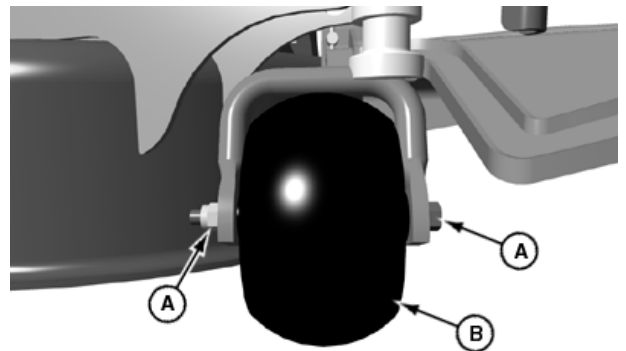
1. ブレードを清掃します。
2. バイスの釘または縦壁のスタッドボルトにブレードを取り付けます。ブレードを水平にします。バランスが取れていない場合、重い方の端が下がります。
3. 重い方の端部の斜角を研削します。ブレードの斜角を変えないでください。



UP00731,0000090 -40-05SEP13- 5

ホイールの交換

1. 作業機を傾斜面ではなく水平な場所に駐車します。
2. モアブレードの接続を解除します。
3. モアを完全に上昇させます。
4. パーキングブレーキをロックします。
5. エンジンを停止します。
6. キーを抜きます。
7. 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。
8. ホイール金具 (A) を取り外します。



A : ホイール金具
B : ホイール

重要：損傷を防止してください！ホイール金具を締め付けすぎないでください。金具を締め付けすぎると、プッシングが損傷します。

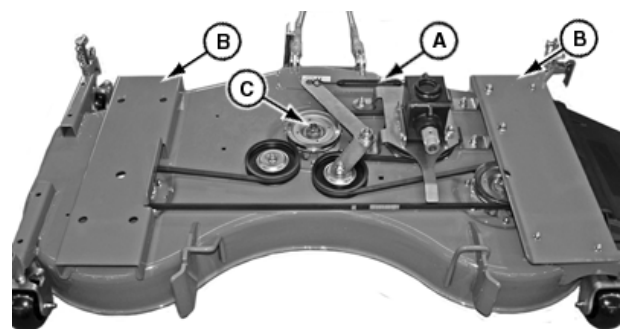
9. 新品のホイール (B) と金具を取り付けます。

UP00731,0000077 -40-05SEP13-1/1

シーブの交換

1. スプリング (A) を取り外してベルト張力を解放します。
2. 必要に応じて、ドライブオーバーランプ (B) を取り外します。
3. 60 D モア：交換するシーブのセンターボルト (C) を取り外します。
4. 72 D モア：交換するシーブのボルト 4 本を取り外します。
5. シーブを交換して金具を取り付けます。

A : スプリング
B : ランプ
C : センターボルト



60D モアを示す
(72D モアのシーブには 1 個ではなく 4 個のナットが使用されている)

UP00731,0000078 -40-05SEP13-1/1

仕様

60 In 7-Iron モアデッキ

モアタイプ	マルチディスチャージまたはサイドディスチャージ
カッティングブレード	3
全幅	1.9 m (75.3 in)
全長	1.04 m (41 in)
刈り高 ^a	3.8~12.7 cm (1-1/2~5 in)
刈り幅	1.5 m (60.9 in)
モア重量	147 kg (324 lb)
ブレードボルトのトルク	122 N·m (90 lb-ft)
ギアボックスのオイル容量	136 mL (4.6 oz.)
EN836 に準拠する音響出力レベル	103 dB (A) (3108 rpm)

^a タイヤサイズに応じて異なります。

UP00731,0000093 -40-28AUG13-1/1

72 In 7-Iron モアデッキ

モアタイプ	マルチディスチャージまたはサイドディスチャージ
カッティングブレード	3
全幅	2.19 m (86 in)
全長	1.14 m (45 in)
刈り高 ^a	3.8~12.7 cm (1-1/2~5 in)
^^刈り幅	1.8 m (72.8 in)
モア重量	156 kg (345 lb)
ブレードボルトのトルク	122 N·m (90 lb-ft)
ギアボックスのオイル容量	136 mL (4.6 oz.)
EN836 に準拠する音響出力レベル	103 dB (A) (2300 rpm)

^a タイヤサイズに応じて異なります。

UP00731,0000094 -40-28AUG13-1/1

整備のお問い合わせ

整備マニュアル

この機械の部品カタログや技術マニュアルのコピーをお求めの場合は、次の連絡先にご連絡ください。

- **米国／カナダ** : 1-800-522-7448
- **その他の地域** : John Deere 取扱店

AP43109,00002CF -40-15APR13-1/1

部品

John Deere 取扱店から入手可能な John Deere の高品質部品および潤滑剤をお勧めします。

部品を注文される場合、John Deere 取扱店はお客様の機械やアタッチメントのシリアル番号や製品識別番号を必要とします。これらの番号は、このマニュアルの「製品識別」セクションに記録した番号です。

AP43109,00002D0 -40-15APR13-1/1

整備部品のオンライン注文

インターネット経由の部品の注文と情報については、<http://JDParts.deere.com> にアクセスしてください。

AP43109,00002D1 -40-15APR13-1/1

高品質な整備で John Deere 製品の高い品質を維持

お近くの John Deere 取扱店が提供する部品と整備サポートで製品の高い品質を維持できるよう、John Deere ではお客様のご質問や技術的な問題に対応するためのプロセスを提供しています。

お使いの製品に関して問題がある場合は、以下の手順でお問い合わせください。

1. アタッチメント、作業機または装置のオペレータマニュアルをご確認ください。

2. 解決できない問題がある場合は、お近くの John Deere 取扱店にご連絡ください。

3. 北米またはカナダでは、John Deere カスタマーコンタクトにご連絡ください。

- 1-800-537-8233 にお電話のうえ、製品のシリアル番号およびモデルをお知らせください。

AP43109,00002D2 -40-15APR13-1/1

適合宣言

EC 適合宣言

Deere & Company

Moline, Illinois U.S.A.

下記に記名した人間が以下を宣言します。

機械タイプ：モアデッキ

モデル：60D/72D

シリアル番号：製品の情報ページを参照してください

この機械は以下の指令と関係するあらゆる規定および基本要件にすべて適合します。

指令	番号	認定方法
機械指令	2006/42/EC	自己認定

技術構成ファイルの編集を許可したコミュニティに属する人物の氏名および住所

Brigitte Birk

John Deere GmbH & Co. KG

Mannheim Regional Center

John Deere Str. 70

D-68163 Mannheim, Germany

宣言場所：Augusta, Georgia U.S.A.

氏名：John Sundberg

宣言日：2009 年 12 月 9 日

職位：コンパクトユーティリティトラクター
エンジニアリング部門マネージャ

製造部門：John Deere Horicon Works

CE

UP00731,00000A1 -40-04OCT13-1/1

索引

	ページ		ページ
E		は	
EC 適合宣言	70-1	排出シュート	
か		取り付け	15-5
間隔		ハンガー	
整備	40-1	取り付け	15-7
き		番号	
ギアオイル	40-1	識別	00-1
ギアボックス		ふ	
整備	40-3	フォワードリフトリンク	
ギアボックスおよびテンションプーリー		取り付け	15-5
取り付け	15-3	ブラケット	
機械		取り付け	15-8
準備	25-1	ほ	
機械に載せたモア		ホイール	
輸送	35-3	交換	40-6
く		取り付け	15-4
グリース	40-1	も	
こ		モア	
互換性		詰まりの除去	35-3
製品	00-1	取り外し	30-1
し		潤滑	40-2
シープ		上昇・下降	35-1
交換	40-6	接続	35-2
仕様		保管	30-2
60 in デッキ	60-1	モアブレード	
72 in デッキ	60-1	整備	40-4
た		モアベルト	
高さ調整リンク		整備	40-3
使用	35-2	モアホイール	
取り付け	15-9	調整	35-2
と		モアレベル	
トラクターおよび PTO カプラー		調整：フロント／リア	35-1
準備	25-1	調整：側方	35-1
トラクターへのモアデッキ		よ	
取り付け	25-2	揺動軸	
取り付け		取り付け	15-9
完了	15-10	ら	
		ラベル	
		安全	05-2
		り	
		リアリフトリンク	
		組み立て	15-6
		リフトキット、部品	15-1

